

令和7度（1学年用）教科工業科目工業技術基礎

教科：工業科目：工業技術基礎単位数：4単位

対象学年組：第1学年2組

教科担当者：（2組：川口内田山崎大場）

使用教科書：（実教出版工業技術基礎）

教科工業の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目工業技術基礎の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業技術に関する広い視野を持つことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	Ⅰ単元：工業技術基礎を学ぶにあたって 【知識及び技能】 工業技術基礎における重要なことが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 工業技術基礎のガイダンスを聞き、安全第一で取り組むこと、報告書を期限内に提出させるために思考・判断して実践できる。 【学びに向かう力、人間性等】 工業技術基礎を学ぶにあたって、科目の目標に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 作業を行うための注意事項や身構み指導する。 報告書等の時間や期限を守るための指導する。 これから授業を受けるための心構えを身に付けさせる。 ・教材 開数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識及び技能】 工業技術基礎における重要なことが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 工業技術基礎のガイダンスを聞き、安全第一で取り組むこと、報告書を期限内に提出させるために思考・判断して実践できる。 【学びに向かう力、人間性等】 工業技術基礎を学ぶにあたって、科目の目標に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	Ⅱ単元：報告書の作成 【知識及び技能】 報告書の意義や重要性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 報告書を期限内にきれいに仕上げる方法を思考判断し、報告書で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 報告書の記入方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 報告書の正しい作成手順を身に付けさせる。 ・教材 開数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識及び技能】 報告書の意義や重要性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 報告書を期限内にきれいに仕上げる方法を思考判断し、報告書で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 報告書の記入方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査						
	Ⅲ単元測定工具の取り扱い 【知識及び技能】 質量、容量、寸法などを測定する機器や器具の正しい使用方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 測定値における誤差を理解し、測定値や計算値を適切な有効数値で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 測定工具の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 各種測定する機器や器具の正しい使用方法を理解させる。 ・教材 開数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 一般に使われている測定器の使いかたと使用上の留意点についての正しい知識を持ち、正しい寸法測定法を身につけている。 【思考・判断・表現】 一般に使われている測定器の使いかたと使用上の留意点について、適切に思考・判断し、正しい寸法測定法について実践し、その手法を相手に伝える表現法を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 一般に使われている測定器の使いかたと使用上の留意点について、主体的に興味・関心をもち、正しい寸法測定法の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	16
	Ⅳ単元機械加工（旋盤作業） 【知識及び技能】 基礎的な機械工作に関する実習として、旋盤作業を体験させ、安全に配慮しながらその技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 旋盤加工の原理や切込みと送り量の関係を踏まえ、安全に仕上げる方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 旋盤の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 旋盤の正しい使用方法と加工手順を理解させる。 ・教材 開数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 旋盤作業の基本操作について正しい知識を身につけ、安全に旋削作業ができる技術をもっている。 【思考・判断・表現】 旋盤作業の基本操作法について、適切に思考・判断し、安全な旋削作業法について説明できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 旋盤の基本作業について、主体的に興味・関心をもち、旋削作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	20
2 学 期	定期考査						
	Ⅴ単元溶接加工（ガス溶接・被覆アーク溶接） 【知識及び技能】 各溶接作業における理論と安全作業を理解し、装置を適切に取り扱うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 溶接加工の内容を理解し、加工に応じた溶接方法を選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 各溶接器具の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 各溶接機器の正しい使用方法と加工手順を理解させる。 ・教材 開数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 溶接作業の基本操作についての正しい知識を習得し、溶接作業法の技術をよく身につけている。 【思考・判断・表現】 溶接作業の基本操作について、適切に思考・判断し、その加工法についての的確に表現できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 溶接作業の基本操作について興味・関心をもち、溶接作業に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	20
	Ⅵ単元電気計測（テストターの製作と電子回路の計測） 【知識及び技能】 電気についての基礎・基本の原理を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 電気についての正しい計測方法を理解させ、電気工用工具の正しい使用方法を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 電線の正しい結束の方法や電気材料の識別に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 テストターの製作方法と正しい使用方法、電子回路の組み方を理解させる。 ・教材 開数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 回路計やテストターの学習を通して、基礎的・基本的な計測の知識・技術を身につけ、生産活動における電気計測機器の重要性と社会的意義や役割を身につけている。 【思考・判断・表現】 回路計やテストターの学習を通して、みずから各部品や回路の望ましい測定方法を思考・判断し、効率よい計測を創意工夫し、その成果を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 回路計やテストターの学習を通して、主体的に計測機器のしくみや働きに興味・関心をもち、安全で正確に電気回路の計測を実践する意欲的な態度を身につけている。	○	○	○	20
	定期考査						
	Ⅶ単元鋳造作業（オイルサンドによる鋳造作業） 【知識及び技能】 鋳金作業における安全作業を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 抜き勾配等の必要性を理解し木型を作成することができる。 鋳型つくり使用する工具の名称・使用方法が判別できる。 【学びに向かう力、人間性等】 金属の融解温度・金属の特徴や鋳物製品の特徴・用途に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 鋳造作業工具の正しい使用方法、各種金属の鋳込み方法の違いを理解させる。 ・教材 開数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 鋳造作業の基本操作についての正しい知識を習得し、鋳造作業法の技術をよく身につけている。 【思考・判断・表現】 鋳造作業の基本操作について、適切に思考・判断し、その加工法についての的確に表現できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 鋳造作業の基本操作について興味・関心をもち、鋳造作業に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	20

3 学 期	Ⅱ 單元手仕上げ加工（文顔の製作） 【知識及び技能】 手仕上げ用工具について、種類・構造・使用方法・注意点について理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 金属材料を用いて、工作工具によるクガキ・切断・鋸がけ・穴あけ・ねじり作業を行いその方法・安全に関する注意などを理解させ表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 手仕上げ実習の特徴や作業工具の特徴・用途に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 手仕上げ実習における安全作業法について理解し実践できるようにする。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習に必要なもの	【知識・技能】 機械加工における手仕上げの方法の正しい知識を習得して、安全に配慮した作業法の技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 機械加工における手仕上げの方法について適切に思考・判断し、基礎的作業における手仕上げの意義についての確に表現できる技量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械加工における手仕上げの方法に主体的に興味・関心を持ち、手仕上げの基礎的作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	20
	定期考査						
	Ⅲ 單元確認試験 【知識・技能】 4ローテーション目の各実習の内容を理解することができる。 【思考・判断・表現】 4ローテーション目の実習を通じて今後に生かしたい能力を思考判断し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 工業技術基礎の各分野のに対して関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	指導事項 各ローテーションの内容と作業手順を要約して説明でき、意欲的且つ、協働的に作業することが出来る力を身に付けさせる。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習に必要なもの	【知識・技能】 4ローテーション目の各実習の内容を理解することができる。 【思考・判断・表現】 4ローテーション目の実習を通じて今後に生かしたい能力を思考判断し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 工業技術基礎の各分野のに対して関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	4
	Ⅳ 單元：実習成果発表 【知識・技能】 実習の成果発表について他者に対して発表する技能を習得できる。 【思考・判断・表現】 聞き手に対してわかりやすく伝えるために思考判断し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 成果発表に対して関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	指導事項 ○成果発表の資料作成手順 ○発表指導 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習に必要なもの	【知識・技能】 実習の成果発表について他者に対して発表する技能を習得できる。 【思考・判断・表現】 聞き手に対してわかりやすく伝えるために思考判断し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 成果発表に対して関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	4
	定期考査						
							合計
							140

科目 工業技術基礎において、工業技術科では、旋盤作業・溶接作業・電気計測・手仕上げ鑄金の4項目について、年間を通して1クラスを4班編成に分けローテーションしながら実習を行う。

令和7年度（1学年用）教科 工業 科目 工業情報数理

教科：工業

科目：工業情報数理

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 2 組

教科担当者：（2組：鈴木 大場）

使用教科書：（オーム社 工業情報数理）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 工業情報数理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技能を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元産業社会と情報技術（コンピュータの歴史） 【知識及び技能】 コンピュータの要素についてコンピュータ誕生までの歴史を踏まえてコンピュータを構成する装置などを理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータを構成する要素の性能が処理能力に与える影響に着目して、コンピュータの要素に関する課題を見出すとともに解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータを構成する要素のそれぞれの性能について自ら学び、技術の発展に対応した情報化社会におけるコンピュータの活用に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 コンピュータ誕生の歴史を踏まえてコンピュータを構成する装置などを理解しているとともに、関連する技術を身に付けさせる。 ・教材 教科書 ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 コンピュータの要素についてコンピュータ誕生までの歴史を踏まえてコンピュータを構成する装置などを理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 コンピュータを構成する要素の性能が処理能力に与える影響に着目して、コンピュータの要素に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータを構成する要素の機能と性能について自ら学び、技術の発展に対応した情報化社会におけるコンピュータの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	B 単元産業社会と情報技術（情報化の発展と産業社会） 【知識及び技能】 産業革命の歴史を踏まえて工業の各分野における具体的なコンピュータ活用事例を理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータを導入が産業界や社会に与える影響に着目して、情報化に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 各分野での情報化について自ら学び、第4 次産業革命の技術を踏まえてこれらの情報化の発展に対して主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第4次産業革命による産業構造の変化に対して、主体的かつ協働的に取り組む技能を身に付けさせる。 ・教材 教科書 ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 産業革命の歴史を踏まえて工業の各分野における具体的なコンピュータ活用事例を理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 コンピュータを導入が産業界や社会に与える影響に着目して、情報化に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各分野での情報化について自ら学び、第4 次産業革命の技術を踏まえてこれらの情報化の発展に対して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元産業社会と情報技術（情報モラルとネットリテラシー） 【知識及び技能】 知的財産権の種類や保護の範囲を踏まえて権利を正しく理解しているとともに、SNS などインターネットを安全に活用する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 知的財産権が製品開発や創作活動に与える影響やSNS の特徴に着目して、情報モラルに関する課題を見出すとともに、解決策を考え、法的な根拠などに基づき結果を検証し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 知的財産権や情報モラルについて自ら学び、インターネットの特徴に応じた他者の権利の取扱い方法やSNS の利用ルールの策定に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 知的財産権の種類や保護の範囲を踏まえて権利を正しく理解させる。 ・教材 教科書 ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 知的財産権の種類や保護の範囲を踏まえて権利を正しく理解しているとともに、SNS などインターネットを安全に活用する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 知的財産権が製品開発や創作活動に与える影響やSNS の特徴に着目して、情報モラルに関する課題を見出すとともに、解決策を考え、法的な根拠などに基づき結果を検証し改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知的財産権や情報モラルについて自ら学び、インターネットの特徴に応じた他者の権利の取扱い方法やSNS の利用ルールの策定に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	D 単元産業社会と情報技術（情報セキュリティ） 【知識及び技能】 情報セキュリティについてコンピュータ犯罪の種類や処罰する法律を踏まえてセキュリティ対策を理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータ犯罪が自分に与える被害の影響に着目して、インターネットの利用に関する課題を見いだすとともに解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットを安全に利用するために情報セキュリティについて自ら学び、セキュリティ技術の活用に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 情報セキュリティを理解しているとともに、セキュリティ技術の活用に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付けさせる。 ・教材 教科書 ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報セキュリティについてコンピュータ犯罪の種類や処罰する法律を踏まえてセキュリティ対策を理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 コンピュータ犯罪が自分に与える被害の影響に着目して、インターネットの利用に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき対策を検証し改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 インターネットを安全に利用するために情報セキュリティについて自ら学び、セキュリティ技術の活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 単元コンピュータシステム（ハードウェア） 【知識及び技能】 2進数、16 進数や論理回路などがコンピュータを構成するのに必要であると理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 2進数、16 進数や論理回路がコンピュータを構成する上で必要なものであることに着目し、コンピュータの構成に関する課題を見出すとともに解決策を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 2進数、16 進数や論理回路がコンピュータを構成する上で必要な技術であることを自ら学び、目的の処理ができるように論理回路の構成を主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 2進数、16 進数、論理回路がコンピュータを構成する上で役割について興味・関心を持ち理解させる。 ・教材 教科書 ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 2進数、16 進数や論理回路などがコンピュータを構成するのに必要であると理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 2進数、16 進数や論理回路がコンピュータを構成する上で必要なものであることに着目し、コンピュータの構成に関する課題を見出すとともに解決策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2進数、16 進数や論理回路がコンピュータを構成する上で必要な技術であることを自ら学び、目的の処理ができるように論理回路の構成を主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	F 単元コンピュータシステム（ソフトウェア） 【知識及び技能】 ソフトウェアおよびWeb ページ構造について正しい知識を持ち、その活用方法について身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ソフトウェアを目的に合わせて適切に利用する判断ができる。Web ページの作成を通して、発信する情報を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ソフトウェアの特徴やWeb ページの構造について自ら学び、知識・技術の向上に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ソフトウェアおよびWeb ページの構造について興味・関心を持ち、適切な活用や表現について理解を深めさせる。 ・教材 教科書 ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ソフトウェアおよびWeb ページ構造について正しい知識を持ち、その活用方法について身に付けている。 【思考・判断・表現】 ソフトウェアを目的に合わせて適切に利用する判断ができる。Web ページの作成を通して、発信する情報を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトウェアの特徴やWeb ページの構造について自ら学び、知識・技術の向上に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

3 学 期	Ⅱ Ⅰ 単元コンピュータシステム（ネットワーク） 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの正しい知識を持ち、その活用方法について身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 情報通信ネットワークについて適切に思考・判断し、基礎的な活用についての確に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークに興味・関心を持ち、情報通信ネットワークに意欲的に取り組む。	・指導事項 情報通信ネットワークについて、その意義や役割について興味・関心を持ち、ネットワークを活用する力の向上を目指す。 ・教材 教科書 机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報通信ネットワークの正しい知識を持ち、その活用方法について身に付けている。 【思考・判断・表現】 情報通信ネットワークについて適切に思考・判断し、基礎的な活用についての確に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報通信ネットワークに興味・関心を持ち、情報通信ネットワークに意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	Ⅱ Ⅱ 単元コンピュータシステム（障害対策） 【知識及び技能】 コンピュータの障害対策について正しい知識を持ち、その活用方法について身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの障害対策について適切に思考・判断し、基礎的な活用についての確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの障害対策に興味・関心を持ち、バックアップやRAIDなどの装置の活用について意欲的に取り組む。	・指導事項 コンピュータの障害対策について、その意義や役割について興味・関心を持ち、コンピュータを安全に活用する力の向上を目指す。 ・教材 教科書 机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 コンピュータの障害対策について正しい知識を持ち、その活用方法について身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 コンピュータの障害対策について適切に思考・判断し、基礎的な活用についての確に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの障害対策に興味・関心を持ち、バックアップやRAIDなどの装置の活用について意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	Ⅲ Ⅰ 単元数値処理（SI 単位系） 【知識及び技能】 国際単位系と組立単位及び接頭語について理解するとともに、実際に活用して合理的に単位換算などの数値処理を行う技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 国際単位系と組立単位及び接頭語について、自ら思考を深め判断して単位換算などの数値処理を行い、その結果を検証し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際単位系と組立単位及び接頭語について自ら学び、単位換算などの数値処理を主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 国際単位系と組立単位及び接頭語について理解し、実際に活用して単位換算ができ、主体的かつ協働的に数値処理する力を身に付けさせる。 ・教材 教科書 机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際単位系と組立単位及び接頭語について理解し、実際に活用して合理的に単位換算などの数値処理を行う技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 国際単位系と組立単位及び接頭語について、自ら思考を深め判断して単位換算などの数値処理を行い、その結果を検証し改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際単位系と組立単位及び接頭語について自ら学び、単位換算などの数値処理を主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	Ⅲ Ⅱ 単元アルゴリズムとプログラミング プログラミングの基礎（プログラミング言語） 【知識及び技能】 プログラミング言語の分類・特徴について理解しているとともに、その活用方法について身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラミング言語について分類・特徴について思考・判断し、言語ごとの基礎的な活用について見出すとともに、用途に適した言語の選択を検証し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミング言語に興味・関心を持ち、プログラミング言語の理解を深めるために意欲的に取り組む。	・指導事項 プログラミング言語の分類・特徴に興味・関心を持ち、言語を活用する力の向上を目指して自ら学び、プログラミング言語に主体的かつ協働的に取り組む力を身に付けさせる。 ・教材 教科書 机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プログラミング言語の分類・特徴について理解しているとともに、その活用方法について身に付けている。 【思考・判断・表現】 プログラミング言語について分類・特徴について思考・判断し、言語ごとの基礎的な活用について見出すとともに、用途に適した言語の選択を検証し改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 プログラミング言語に興味・関心を持ち、プログラミング言語の理解を深めるために意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

令和7年度（1学年用）教科 工業 科目 製図

教科：工業

科目：製図

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 2 組

教科担当者：（2組：大場）

使用教科書：（実教出版 製図）

教科 工業

の目標：

【知識及び技能】製図に関する基本的な概念や基礎的な知識を理解させ、読図・作図の技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】製図に関する事象を論理的に思考と分析を行い判断して、その過程と結果を表現する能力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】製図に関する事象に関心を持ち、主体的・協働的に取り組む態度を身に付けさせる。

科目 製図

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
製図に関する日本工業規格および工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作用・設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。	製図に関する事象について、論理的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や結果および考えかたを的確に表現できる。	製図に関する事象について理解し、読図・作図の技能を身につけている。製図に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解し、身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(1)単元：製図と規格、製図用器具と材料 【知識及び技能】 日本産業規格の製図に関する規格を理解し、作図するのに必要な製図用具や器具、材料を用いて、能率よく作図できる能力が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 日本産業規格・国際標準化機構には機械製図に関する規格があり、それらの規格に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	・指導事項 ワークシート201直線（1） ワークシート202直線（2） ワークシート203直線のつなぎ方 ワークシート204円弧 ワークシート205円弧と直線・曲線 ワークシート206図形と円弧・直線 ・教材 基礎製図練習ノート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識及び技能】 日本産業規格の製図に関する規格を理解し、作図するのに必要な製図用具や器具、材料を用いて、能率よく作図できる能力が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 日本産業規格・国際標準化機構には機械製図に関する規格があり、それらの規格に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	2
	(2)単元：直線・円弧 【知識及び技能】 規格に定められている線の種類をじゅうぶん理解し、規格に従って、正しくかく技能が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 図面を作図するさいは、機械製図や各種規格に基づいて、思考・判断して、正しく作図・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 直線と円弧の作図について、線種や太さ等を理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 ワークシート201直線（1） ワークシート202直線（2） ワークシート203直線のつなぎ方 ワークシート204円弧 ワークシート205円弧と直線・曲線 ワークシート206図形と円弧・直線 ・教材 基礎製図練習ノート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識及び技能】 規格に定められている線の種類をじゅうぶん理解し、規格に従って、正しくかく技能が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 図面を作図するさいは、機械製図や各種規格に基づいて、思考・判断して、正しく作図・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 直線と円弧の作図について、線種や太さ等を理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査						
	(3)単元：数字・文字・漢字 【知識及び技能】 規格に定められている文字の種類、文字の大きさ、文字の太さを理解し、規格に従って、正しくかく技能が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 図面を作図するさいは、機械製図や各種規格に基づいて、思考・判断して、正しく作図・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 文字の作図について、文字の大きさ、太さ等を理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 ワークシート101（1）数字 ワークシート102（2）数字 ワークシート103（3）数字 ワークシート104（4）数字 ワークシート105ラテン文字（大文字） ワークシート106ラテン文字（小文字） ワークシート107記号・数字・ラテン文字 ワークシート108漢字と総合練習 ・教材 基礎製図練習ノート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識及び技能】 規格に定められている文字の種類、文字の大きさ、文字の太さをじゅうぶん理解し、規格に従って、正しくかく技能が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 図面を作図するさいは、機械製図や各種規格に基づいて、思考・判断して、正しく作図・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 文字の作図について、文字の大きさ、太さ等を理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	10
2 学 期	(4)単元：第三角法、投影図、等角図 【知識・技能】 第三角法、等角図、寸法記入についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 図面を第三角法、投影図、等角図で正しく作図し、表現でき、思考・判断できる。 また、寸法記入をかけるように思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための投影図について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 ワークシート301投影図（1） ワークシート302第三角法（2） ワークシート303等角図 ・教材 基礎製図練習ノート・自作ワークシート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 第三角法、投影図、等角図についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 図面を第三角法、投影図、等角図で正しく作図し、表現でき、思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための投影図について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査						
	(5)単元：第三角法、投影図、等角図 【知識・技能】 第三角法、投影図、等角図についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 図面を第三角法、投影図、等角図で正しく作図し、表現でき、思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための投影図について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 ワークシート301第三角法（1） ワークシート302第三角法（2） ワークシート303等角図 ・教材 基礎製図練習ノート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 第三角法、投影図、等角図についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 図面を第三角法、投影図、等角図で正しく作図し、表現でき、思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための投影図について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	8
	(6)単元：展開図・寸法記入 【知識・技能】 展開図・寸法記入についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 図面を展開図に正しく作図し、寸法記入できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための展開図と寸法記入の方法について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 ワークシート304展開図（1） ワークシート305展開図（2） ワークシート306寸法記入 ワークシート307寸法記入・表面形状の図示記号 ワークシート308サイズ公差・幾何公差・溶接記号 ・教材 基礎製図練習ノート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 展開図・寸法記入についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 展開図と寸法記入法を理解し、正しく作図し表現でき、思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための展開図について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査						
	(7)単元：製作用（1） 【知識・技能】 正面図の描きかたを理解している。基礎的な平面図形のかきかたを習得している。 【思考・判断・表現】 基礎的な平面図形のかきかたを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 基礎的な平面図形のかきかたに関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 課題401締付金具 課題402Vブロック 課題403異形ブロック ・教材 基礎製図練習ノート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 正面図の描きかたを理解している。基礎的な平面図形のかきかたを習得している。 【思考・判断・表現】 基礎的な平面図形のかきかたを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 基礎的な平面図形のかきかたに関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	6

	(7)単元：製作図(2) 【知識・技能】 正面図の選びかたを理解している。発展的な平面図形のかきかたを習得している。 【思考・判断・表現】 発展的な平面図形のかきかたを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発展的な平面図形のかきかたに関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 課題4 0 4 段付九株 課題4 0 5 段付リング 課題4 0 6 フランジ 課題4 0 7 フランジたわみ軸接手 ・教材 基礎製図練習ノート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 正面図の選びかたを理解している。発展的な平面図形のかきかたを習得している。 【思考・判断・表現】 発展的な平面図形のかきかたを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発展的な平面図形のかきかたに関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査						
3 学 期	(8)単元：製作図・寸法記入(1) 【知識・技能】 製作図・寸法記入についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 図面を製作図に正しく作図し、寸法記入できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための製作図と寸法記入の方法について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 課題5 0 1 ねじ・ボルト・ナット 応用課題3 0 4 S～4 0 2 S ・教材 基礎製図練習ノート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 製作図・寸法記入についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 製作図と寸法記入法を理解し、正しく作図し表現でき、思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための製作図について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	10
	(9)単元：製作図・寸法記入(2) 【知識・技能】 製作図・寸法記入についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 図面を製作図に正しく作図し、寸法記入できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための製作図と寸法記入の方法について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 応用課題4 0 3 S～4 0 6 S ・教材 基礎製図練習ノート ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 製作図・寸法記入についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 製作図と寸法記入法を理解し、正しく作図し表現でき、思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための製作図について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査						
							合計
							70

令和7年度（1学年用）教科 工業 科目 工業環境技術

教科：工業

科目：工業環境技術

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 2組

教科担当者：（2組：川口）

使用教科書：（環境工学基礎）

教科 工業

の目標：

工業技術者として環境に関する基礎的な知識と技術を習得する。

身近な地域から地球規模にいたる環境問題を体系的にとらえ、人間が環境に与える影響や工業技術が環境に果たす役割について考え、まとめることができる。

習得した知識と技術を実際に活用できるようにする。

科目 工業環境技術

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
環境に関する事象を検証するための調査や実験、資料の収集、情報の選択を適切に行うことができる。環境問題の背景や歴史と種類や規模などについて基礎的な知識を有している。また、環境技術とほかの工業技術との関連性について理解している。	身近な地域から地球規模にいたる環境問題を体系的にとらえ、人間が環境に与える影響や工業技術が環境に果たす役割について考え、まとめることができる。	環境問題および環境に関する技術に興味・関心を持ち、環境にかかわる課題の追求と、その課題を解決していこうとする意欲や態度がある人格形成を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「環境工学基礎」を学ぶにあたって 【知識及び技能】 環境問題が、地域の公害問題から世界的な環境問題に発展してきた背景と、環境に対する社会の考え方の変化について知り、環境問題を解決するためには社会の取り組みを変える必要があることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な地域から地球規模にいたる環境問題を体系的にとらえ、人間が環境に与える影響や工業技術が環境に果たす役割について考え、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題および環境に関する技術に興味・関心を持ち、環境にかかわる課題の追求と、その課題を解決していこうとする意欲や態度を判断させる。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 環境問題の背景や歴史と種類や規模などについて基礎的な知識を有している。また、環境技術とほかの工業技術との関連性について理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 身近な地域から地球規模にいたる環境問題を体系的にとらえ、人間が環境に与える影響や工業技術が環境に果たす役割について考え、まとめようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境問題および環境に関する技術に興味・関心を持ち、環境にかかわる課題の追求と、その課題を解決していこうとする意欲や態度が見られる。	○	○	○	2
	B 単元第1章 地球と人類 1. 地球の成り立ち 【知識及び技能】 地球の誕生から海洋や大気が形成された過程と、生命の誕生・進化の過程を把握させる。地球の構造と、水と炭素が地球上で循環するしくみについて学習し、循環のバランスが地球環境を維持するために重要であることを認識させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地球の誕生から現在までの歴史を1年間にたとえて説明する。地球上の水の分布図から利用可能な淡水の割合を計算させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球上の炭素の循環図と本文中の炭素量との関係を補足する。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 地球や大気、生命の誕生過程を知り、地球の構造や物質が地球上で循環するしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 水や炭素など地球上で循環する物質の循環メカニズムから、将来の状況を推測することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球の構造や物質の循環について学び、生命に対して望ましい地球環境を維持していこうとする態度を持っている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元第1章 地球と人類 2・3. 地球上の資源・世界の資源と人間 【知識及び技能】 エネルギー資源や鉱物資源、生物資源、水資源について、種類や分布、資源量などの特徴と現状を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 枯渇性エネルギー資源の実物や見本があれば提示する。 【学びに向かう力、人間性等】 これらの資源が社会や産業、人々の生活に与える影響と、望ましい資源の利用方法について考察させる。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 エネルギー資源や鉱物資源、生物資源、水資源について、それぞれが有する特徴と現状について理解している。 【思考・判断・表現】 エネルギー資源や鉱物資源、生物資源、水資源について、現在と将来的な課題をいだし、要点をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな資源量を身近でわかりやすい量として示すことができる。また、資源の分布や割合を適切に図示できる。	○	○	○	8
	D 単元第2章 社会と環境 1・2. 社会と環境の歴史・日本の環境政策 【知識及び技能】 産業革命にはじまる都市の環境問題の歴史や、日本の高度経済成長にもともなう具体的な公害問題について復習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 オゾン層の破壊や地球温暖化などの地球環境問題と、それに向けた国際社会の取り組みについて理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 近年の気候変動枠組条約や生物多様性条約締結国会議の状況を取り上げる。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 世界や日本の社会が経験してきた公害や環境問題の歴史と、その解決に向けた国際的な取り組みや条約について理解している。 【思考・判断・表現】 公害や環境問題が発生した背景と、環境問題が地域的なものから地球規模へと拡大するようになった経緯についてまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 オゾン層破壊のメカニズムについて図式的に説明することができる。また、フロン類の種類と規制について調べ、適切に表にまとめることができる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 単元第3章 地球温暖化とエネルギー 1・2. 地球温暖化とその影響・エネルギーの利用技術と地球温暖化対策 【知識及び技能】 地球温暖化の原因とそのメカニズムについての知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 二酸化炭素排出量と大気中の二酸化炭素濃度が併記されたグラフを提示する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本のエネルギー供給と消費の関係を学習し、各国の発電構成について比較、検討させる。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 地球温暖化のメカニズムや温室効果ガスの種類と発生源についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 地球温暖化の原因と歴史的背景について考え、地球温暖化がもたらす今後の影響とその緩和策について、比較・検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本で排出される温室効果ガスの種類と割合を調査し、その結果をグラフを用いて視覚化できる。	○	○	○	11
	F 単元第4章 廃棄物とリサイクル 1. 廃棄物の現状 【知識及び技能】 廃棄物の分類を理解させる。経済成長とごみ問題との関連について考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 一般廃棄物や産業廃棄物など、ごみの種類ごとの排出量や処理方法を学習し、ごみの不法投棄や広域移動が発生する背景について検証させる。 【学びに向かう力、人間性等】 産業廃棄物については種類と業種との関係に触れる。不法投棄については具体的な実例を提示する。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 廃棄物の分類および一般廃棄物と産業廃棄物の排出量と処理方法についての知識を持ち、廃棄物の不法投棄や広域移動などの実態も理解している。 【思考・判断・表現】 廃棄物が現在の分類や処理方法にいたった背景について考え、現状の廃棄物処理の問題点と今後の課題の論点を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 廃棄物の分類や処理方法について図表を用いて説明することができる。また、廃棄物にかかわる諸問題について、情報の収集と調査を行うことができる。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	G 単元第5章 地域環境の保全 1. 大気・水質・土壌等の汚染現状と対策 【知識及び技能】 様々な汚染が発生する原因と、汚染物質の種類や特徴、基準値などを学習し、汚染に関する基本的な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 汚染を防止するための集じんや、硫黄・窒素酸化物の除去技術、排出ガスの規制方法について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 感覚公害の種類と特徴について学習し、騒音・振動・悪臭などの感覚公害がほかの公害と異なる点について考察させる。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 感覚公害の種類と原因および騒音を定量的に数値化するための定義や手法についての知識を有している。また、臭気の測定における人為的な官能試験法の概要を理解している。 【思考・判断・表現】 大気汚染物質の発生原因を考え、排出ガス中の汚染物質をその種類に応じて適切に除去するための技術について解説することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 水質汚染を防止するための排水の処理技術について、その原理やしくみを模式図に表すことができる。また、水質調査の計画を立て、適切に物理的・化学的検査を実施することができる。	○	○	○	6

3 学 期	単元第6章 産業と環境 1. 産業界の環境管理の取り組み 【知識及び技能】 複数の企業の環境報告書を閲覧する。 【思考力、判断力、表現力等】 環境マネジメントシステムやライフサイクルアセスメント、環境ラベルの目的やしくみをはじめ、環境技術と経済との関係について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 環境規制遵守のため、事業者求められる自主的な取り組みと社会的な責任について考察させる。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 環境マネジメントシステムやライフサイクルアセスメントの概要を理解している。また、環境ラベルとグリーン購入法について基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 企業で環境活動が求められる背景を考え、産業界で必要とされる環境管理の手法や法制度について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業の環境報告書を集集し、それぞれの事業者が取り組む環境対策について調査することができる。	○	○	○	7		
	定期考査			○	○		1		
	単元第7章 都市・生活と環境 1. 都市システムと環境 【知識及び技能】 民生部門と交通部門のエネルギー消費について学習し、ヒートアイランド現象の要因と対策を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 業務部門のエネルギー消費と業種別構成比、床面積の経年変化を提示する。 【学びに向かう力、人間性等】 都市の水需要と給排水処理について学習し、治水、利水のあり方を考察させる。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 部門別エネルギー消費やヒートアイランド現象、水処理、交通システムについて、それぞれの現状や環境対策技術を理解している。 【思考・判断・表現】 グラフから人間の生活によって発生する都市の環境問題を読み取り、必要な環境対策について提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 部門別エネルギー消費やヒートアイランド現象、水の需要、交通システムに関するデータを視覚的に表すことができる。	○	○	○	10		
	単元第7章 都市・生活と環境 2・3. 環境保全に向けたさまざまな取り組み 【知識及び技能】 人々の生活が環境に与える影響を理解させ、暮らしの中での環境保全のあり方について考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の環境保全を推進するためのまちづくりや地域づくりの重要性を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 各家庭で取り組んでいる環境保全について発表させる。	・指導事項 ・教材・教材 環境工学基礎 自作プリント ・机間指導・Teamsの活用 等	【知識・技能】 快適な住環境を維持するために必要な空気や騒音、断熱性能の基準についての知識を有している。 【思考・判断・表現】 人々の暮らしが環境に与える影響を考え、地域社会で必要とされる環境維持活動を実践することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な地域の環境保全活動やまちづくりの事例を調べ、その結果を発表することができる。	○	○	○	9		
	定期考査			○	○		1	合計	70

令和7年度（2学年用）教科 工業 科目 実習

教科：工業

科目：実習

単位数：4 単位

対象学年組：第 2 学年 2 組

教科担当者：（ 2 組：鈴木 山崎 内田 ）

使用教科書：（ 実教出版 工業技術基礎 ）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業技術を実際の作業に即して総合的に理解すると共に、関連する技術と知識を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】工業技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実習を通して、工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	実習を通して、工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	実習を通して、職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A単元：実習を学ぶにあたって 【知識及び技能】 実習における重要なことが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実習のガイダンスを聞き、安全第一で取り組むこと、報告書を期限内に提出させるために思考・判断して実践できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習を学ぶにあたって、科目の目標に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 作業を行うための注意事項や身振り指導する。 報告書等の時間や期限を守るための指導する。 これから授業を受けるための心構えを身に付けさせる。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識及び技能】 実習における重要なことが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実習のガイダンスを聞き、安全第一で取り組むこと、報告書を期限内に提出させるために思考・判断して実践できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習を学ぶにあたって、科目の目標に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	B単元：報告書の作成 【知識及び技能】 報告書の意義や重要性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 報告書を期限内にきれいに仕上げる方法を思考判断し、報告書で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 報告書の記入方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 報告書の正しい作成手順を身に付けさせる。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識及び技能】 報告書の意義や重要性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 報告書を期限内にきれいに仕上げる方法を思考判断し、報告書で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 報告書の記入方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査						
	C単元：機械加工（旋盤作業） 【知識及び技能】 基礎的な機械工作に関する実習として、旋盤作業を体験させ、安全に配慮しながらその技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 旋盤加工の原理や切込みと送り量の関係を踏まえ、安全に仕上げる方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 旋盤の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 旋盤の正しい使用方法と加工手順を理解させる。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 旋盤作業の基本操作について正しい知識を身に付け、安全に旋盤作業ができる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 旋盤作業の基本操作法について、適切に思考・判断し、安全な旋盤作業法について説明できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 旋盤の基本作業について、主体的に興味・関心をもち、旋盤作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	16
	D単元：数値制御機械実習（NC実習） 【知識及び技能】 数値制御機械の基本について学習し、プログラム作成及び修正の技術を習得する。 【思考力・判断力・表現力等】 マシニングセンターの操作法を学ぶことで技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 数値制御機械の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 数値制御機械の正しい使用方法と加工手順を理解させる。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 数値制御機械作業の基本操作について正しい知識を身に付け、安全に切削作業ができる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 数値制御機械作業の基本操作法について、適切に思考・判断し、安全な切削作業法について説明できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 数値制御機械の基本作業について、主体的に興味・関心をもち、切削加工作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	20
2 学 期	定期考査						
	E単元：機械加工（フライス盤作業） 【知識・技能】 フライス盤作業の基本操作について興味・関心をもち、その加工作業に必要な知識と技能を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 フライス盤作業の基本操作について、適切に思考・判断し、加工法について的確に表現できる力量を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 フライス盤の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 フライス盤の正しい使用方法と加工手順を理解させる。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 フライス盤作業の基本操作について正しい知識を身に付け、安全に切削作業ができる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 フライス盤作業の基本操作法について、適切に思考・判断し、安全な切削作業法について説明できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 フライス盤の基本作業について、主体的に興味・関心をもち、切削加工作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	20
	F単元：機械検査作業 【知識・技能】 機械検査作業の基本操作について興味・関心をもち、その測定法に必要な知識と技能を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 機械検査作業の基本手順について、適切に思考・判断し、測定の方法についてに表現できる力量を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 測定工具の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 各種測定工具の正しい使用方法と加工手順を理解させる。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 工業計測作業の基本について興味・関心をもち、その工業計測作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断・表現】 工業計測作業の基本操作について、適切に思考・判断し、その工業計測作業について的確に表現できる力量を身につけている。 【主体的に取り組む態度】 工業計測作業の操作の技能を体得し、安全に配慮した計測法を身につけ、測定工具の操作についての正しい知識を持ち、計測法をよく理解している。	○	○	○	20
	定期考査						
	G単元：電子回路実習 【知識・技能】 電子回路について興味・関心をもち、その回路作成に必要な知識と技能を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 電子回路作成について、適切に思考・判断し、接続方法について的確に表現できる力量を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 電子回路の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 電子部品の正しい使用方法と配線手順を理解させる。 ・教材 各種センサ、半導体、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 電子回路の部品について正しい知識を身に付け、安全に配線作業ができる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 電子回路の作成法について、適切に思考・判断し、回路の構成について説明できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 電子回路の配線作業について、主体的に興味・関心をもち、回路作成に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	20

3 学 期	単元：制御技術実習 【知識・技能】 制御技術について興味・関心を持ち、その装置作成に必要な知識と技能を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 装置作成について、適切に思考・判断し、組立方法についての確に表現できる技量を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 制御装置の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 制御装置の正しい組み立て方と原理を理解させる。 ・教材 マイコン、センサ、アクチュエータ 実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 制御装置の部品について正しい知識を身につけ、安全に組立作業ができる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 制御装置の設計について、適切に思考・判断し、装置の構成について説明できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 制御装置の組み立て作業について、主体的に興味・関心を持ち、装置作成に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	20
	定期考査						
	単元確認試験 【知識・技能】 6ローテーション目の各実習の内容を理解することができる。 【思考・判断・表現】 6ローテーション目の実習を通じて今後に生かしたい能力を思考判断し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実習の各分野のに対して関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	指導事項 各ローテーションの内容と作業手順を要約して説明でき、意欲的且つ、協働的に作業することが出来る力を身に付けさせる。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 6ローテーション目の各実習の内容を理解することができる。 【思考・判断・表現】 6ローテーション目の実習を通じて今後に生かしたい能力を思考判断し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実習の各分野のに対して関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	4
	単元：実習成果発表 【知識・技能】 実習の成果発表について他者に対して発表する技能を習得できる。 【思考・判断・表現】 聞き手に対してわかりやすく伝えるために思考判断し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 成果発表に対して関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	・指導事項 ○成果発表の資料作成手順 ○発表指導 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 実習の成果発表について他者に対して発表する技能を習得できる。 【思考・判断・表現】 聞き手に対してわかりやすく伝えるために思考判断し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 成果発表に対して関心をもち、意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	4
	定期考査						
							合計
							140

科目 実習において、工業技術科では、旋盤実習・フライス盤実習・電子工作①の3項目を前期実習として実施、MC実習・機械検査作業・電子工作②を後期実習として行い、1クラスを3班編成に分けローテーションしながら実習を行う。

令和7年度（2学年用）教科 工業 科目 機械設計

教科：工業 科目：機械設計

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 2組～3組

教科担当者：（2組：山崎）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（実教出版 機械設計）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的か

科目 機械設計 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「機械」を設計するための基礎となる力学・材料力学・機構学の基礎的な事項を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	簡単な設計・計算の方法を学習し、安全で安心な器具、機械などを創造的、合理的に設計する能力と協働的に取り組む態度を養う。	実践的・体験的な学習活動を通して、機械設計に関する課題の発見と解決や工業技術の進展に対応する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	(1)単元：機械のしくみ 【知識・技能】 ・機械の定義を理解させ、機械、器具、構造物の違いや機械のなりたちを考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・機械のなりたちやしくみを構成部品・機構・制御方法、機械要素の面から理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら社会における機械の重要性に気づき、認識する。	・指導事項 機械の定義・機械が機構と機械要素から成り立っていることを理解できるように留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 機械の定義を理解し、機械がさまざまな機構や要素を組み合わせてできていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 機械とはどのようなものか、機械の定義・なりたち・動きなどを考察し、機械が否かを総合的に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械に関心をもち、機械の定義、機械のしくみ、機械の機構、機械要素を探究しようとしている。	○	○	○	2
	(2)単元：機械設計 【知識及び技能】 製品ができるまでの流れを理解させ、設計が仕様→総合→解析→評価→(最適化)→設計解の流れで行われることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 よい機械は設計者の創造性と経験によることを理解し、良い機械の条件を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製品ができるまでの工程を理解し、どうすれば作業効率が上げられるか考えようとする。	・指導事項 設計の流れ留意点を理解させ、効率を上げるための方法を考えさせる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 設計の進めかたを理解し、新技術の活用やよい機械について理解している。 【思考・判断・表現】 生産における設計の役割や設計の各段階の内容について考えている。 設計の要点を理解し、これからの学習にいかすことについて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械設計に関心をもち、設計の進めかたやよい機械の条件を探究し、設計の基本を理解し、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	(3)単元：機械に働く力 【知識・技能】 ・力の大きさや向き、力の合成・分解、力のつり合いなどについて解析の手法を身に付ける。 ・力のモーメントと偶力、重心の意味とその計算法について理解できる。 【思考・判断・表現】 機械部品には常に何らかの力が働いていることを理解し機械設計で、力や運動・仕事や動力を適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら進んで求められている課題に対して適切に処理することができる。	・指導事項 力の大きさや向きに配慮することを理解させる。 「物理基礎」「物理」で扱われる内容との関連に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 作図や計算で力を合成・分解する方法、計算によって力のモーメント・偶力・重心を求める方法を理解し、それぞれの方法で結果を導き出すことができる。 【思考・判断・表現】 力を合成・分解する方法、力の働きやつり合い、重心の求めかたの流れを考えることができ、力を数学的にとらえ数式で適切に表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械に働く力の工学的意義や物体に動きを与える力について関心をもち、どのように設計に役立てるか意欲的に学習している。	○	○	○	6
	(4)単元：運動 【知識・技能】 直線運動や回転運動の速度・加速度の計算法を理解する。 【思考・判断・表現】 具体例を踏まえ、事象について考察し、試行し判断・表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動によってどのような力が作用するか、力によって起きる運動を探究し、理解する。	・指導事項 物体の落下や回転機械の取り扱いなど身近な事象を話題にし、生徒に興味・関心を喚起させることに留意する。 「物理基礎」「物理」で扱われる内容との関連に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 直線運動や回転運動の速度・加速度の計算法を理解している。 【思考・判断・表現】 直線運動や回転運動の速度・加速度の計算をモータなどの具体例をふまえて踏まえて考察し、運動によって起きる現象を考え、判断・表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動によってどのような力が作用するか、力によって起きる運動を探究し、理解しようとしている。	○	○	○	3
	(5)単元：力と運動の法則 【知識・技能】 運動の法則や運動量に関する基礎知識を習得し、運動する物体と力の関係を計算で示す能力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 運動と力の関係を運動の法則を使って探究し、計算過程を説明する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の種類や法則に関心をもち、物理との関連に留意しながら運動の三法則を理解する。	・指導事項 運動の法則や運動量に関する基礎知識に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 運動の法則や運動量に関する基礎知識を理解し、運動する物体と力の関係を計算で示す能力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 運動と力の関係を運動の法則を使って探究し、計算過程を説明する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の種類や法則に関心をもち、物理との関連に留意しながら運動の三法則を理解しようとしている。	○	○	○	3

学 期	(6)単元：仕事と動力 【知識・技能】 仕事の定義、道具や機械の仕事の原理、仕事のもとになるエネルギー、仕事の時間に対する割合である動力について理解する。 【思考・判断・表現】 エネルギーと仕事、動力の表しかた・計算法を理解し、それらの関係を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 てこ・輪軸・滑車・斜面の具体例を踏まえて、仕事の原理を理解する。	・指導事項 エネルギーと仕事・動力に関連付けて扱う。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 運動の法則や運動量に関する基礎知識を理解し、運動する物体と力の関係を計算で示す能力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 運動と力の関係を運動の法則を使って探究し、計算過程を説明する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の種類や法則に関心をもち、物理との関連に留意しながら運動の三法則を理解しようとしている。	○	○	○	3
	(7)単元：摩擦と機械の効率 【知識・技能】 摩擦の性質や滑り摩擦と転がり摩擦を理解し、摩擦の計算法を身に付けている。 機械の効率の概念と現状を理解する。 【思考・判断・表現】 摩擦が機械に及ぼす影響について探求し、機械の効率が摩擦に左右されることを表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦と機械の効率の係に心をもち、摩擦を小さくする工夫や摩擦の利用について探究し、理解する。	・指導事項 摩擦の性質や滑り摩擦と転がり摩擦に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 摩擦の性質や滑り摩擦と転がり摩擦を理解し、摩擦の計算法を身に付けている。 機械の効率の概念と現状を理解している。 【思考・判断・表現】 摩擦が機械に及ぼす影響について探求し、機械の効率が摩擦に左右されることを表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦と機械の効率の係に心をもち、摩擦を小さくする工夫や摩擦の利用について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
	(8)単元：材料に加わる荷重 【知識・技能】 材料に加わる荷重を正しく分類することができ、関連する用語を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 荷重を作用のしかたや加わる速さによって分類する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 材料に加わる荷重の種類を知り、身近な実例とその現象を探究しようとする態度を身に付けている。	・指導事項 荷重を作用のしかたや加わる速さに留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 材料に加わる荷重を正しく分類することができ、関連する用語を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 荷重を作用のしかたや加わる速さによって分類する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 材料に加わる荷重の種類を知り、身近な実例とその現象を探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	1
	(9)単元：引張・圧縮荷重 【知識・技能】 応力を適切な単位で表現でき、応力、ひずみ、縦弾性係数の関係、応力-ひずみ線図を理解する。 【思考・判断・表現】 応力-ひずみ線図、荷重-変形線図、弾性限度・比例限度・降伏点・耐力・引張強さなどの説明ができ、応力とひずみの関係を計算により表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 荷重と応力の違い、変形量とひずみの違いを理解し、応力とひずみの関係を知ろうとする意欲があり、縦弾性係数を理解する。	・指導事項 応力、ひずみ、縦弾性係数の係に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 応力を適切な単位で表現でき、応力、ひずみ、縦弾性係数の関係、応力-ひずみ線図を理解している。 【思考・判断・表現】 応力-ひずみ線図、荷重-変形線図、弾性限度・比例限度・降伏点・耐力・引張強さなどの説明ができ、応力とひずみの関係を計算により表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 荷重と応力の違い、変形量とひずみの違いを理解し、応力とひずみの関係を知ろうとする意欲があり、縦弾性係数を理解しようとしている。	○	○	○	4
	(10)単元：せん断荷重 【知識・技能】 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の係を理解し、横弾性係数と縦弾性係数の違いを理解する。 【思考・判断・表現】 横弾性係数をせん断応力とせん断ひずみを使って説明する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 せん断荷重の特質を考察し、せん断応力とせん断ひずみ、横弾性係数について理解する。	・指導事項 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の係に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の係を理解し、横弾性係数と縦弾性係数の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 横弾性係数をせん断応力とせん断ひずみを使って説明する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 せん断荷重の特質を考察し、せん断応力とせん断ひずみ、横弾性係数について理解しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	(11)単元：温度変化による影響 【知識・技能】 熱応力と縦弾性係数・線膨張係数・温度差の係を理解し、熱応力が材料の長さや太さには無関係であることなどを理解している。材料の熱による伸び・縮みを計算し、熱応力を求められるようになる。 【思考・判断・表現】 熱応力の原理を理解し、線膨張係数と関連付けて熱応力を考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱応力に関心をもち、熱応力の発生するしくみを考察する。	・指導事項 熱応力の原理に留意し、線膨張係数と関連付けて熱応力を考えられるように指導する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(10)単元：温度変化による影響 【知識・技能】 熱応力と縦弾性係数・線膨張係数・温度差の係を理解し、熱応力が材料の長さや太さには無関係であることなどを理解している。材料の熱による伸び・縮みを計算し、熱応力を求めることができる。 【思考・判断・表現】 熱応力の原理を理解し、線膨張係数と関連付けて熱応力を考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱応力に関心をもち、熱応力の発生するしくみを考察しようとしている。	○	○	○	1
	(12)単元：材料の破壊 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができるようになる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の係から部材の寸法を求める力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解する。	・指導事項 材料の破壊について基礎的な内容に留意し、材料の機械的性質と関連を持たせる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(11)単元：材料の破壊 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の係から部材の寸法を求める力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	4

2 学 期	(13)単元：はりの曲げ 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができるようになる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係から部材の寸法を求める力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解することができる。	・指導事項 材料の破壊について基礎的な内容に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(12)単元：はりの曲げ 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係から部材の寸法を求める力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	8
	(14)単元：ねじり 【知識・技能】 断面二次極モーメントと極断面係数の概念を理解し、ねじりを受ける軸のせん断応力やねじり応力、ねじれ角の計算ができるようになる。 【思考・判断・表現】 ねじりがせん断作用であることを理解し、曲げの場合と同様に考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸が回転動力を伝達するとき、どんな力が働くかを推測したり、軸に生じる応力や変形について探究し、理解する。	・指導事項 断面二次極モーメントと極断面係数の概念に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 断面二次極モーメントと極断面係数の概念を理解し、ねじりを受ける軸のせん断応力やねじり応力、ねじれ角の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ねじりがせん断作用であることを理解し、曲げの場合と同様に考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸が回転動力を伝達するとき、どんな力が働くかを推測したり、軸に生じる応力や変形について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
	(15)単元：座屈 【知識・技能】 柱に発生する座屈の原因を理解し、オイラーの式、ランキンの式による長柱の設計の概要を身に付ける。 【思考・判断・表現】 細長い部材（柱）に圧縮力が加わるとき曲折して破壊する現象や原因を理解し、座屈を防ぐ柱の形状を考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 柱に発生する座屈に関心をもち、原因や対策について探究する。	・指導事項 柱に発生する座屈の原因に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(14)単元：座屈 【知識・技能】 柱に発生する座屈の原因を理解し、オイラーの式、ランキンの式による長柱の設計の概要を身に付けている。 【思考・判断・表現】 細長い部材（柱）に圧縮力が加わるとき曲折して破壊する現象や原因を理解し、座屈を防ぐ柱の形状を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 柱に発生する座屈に関心をもち、原因や対策について探究しようとしている。	○	○	○	1
	(16)単元：安全・安心と設計 【知識・技能】 信頼性や安全性を高めるため、の知識や設計法を理解し、それを活用できる基礎的な力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 安全な製品の製造をするために考察し、身近な具体例を示して信頼性や安全性を高める方法について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械の安全に関心をもち、安全で安心な製品を設計する知識や設計法を理解し、探究しようとしている。また、利用者に配慮した設計の必要性を理解し、その方法を探究する。	・指導事項 高い信頼性・信頼度が重要であることに着目させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(15)単元：安全・安心と設計 【知識・技能】 信頼性や安全性を高めるため、広い視野に立った幅広い知識や設計法を理解し、それを製品設計に活用できる基礎的な力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 安全で安心な製品を設計するために、高い信頼性・信頼度が重要であることを考えている。身近な具体例を示して、信頼性や安全性を高める方法について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械の安全に関心をもち、安全で安心な製品を設計する知識や設計法を理解し、探究しようとしている。また、利用者に配慮した設計の必要性を理解し、その方法を探究しようとしている。	○	○	○	2
	(17)単元：倫理観を踏まえた設計 【知識・技能】 設計にたずさわる技術者には、高度な倫理観とすぐれた知識や技術が求められていることを理解して、その考えかたを身に付ける。 【思考・判断・表現】 製品が社会に及ぼす影響について、実際に起きている事例を通して技術者倫理の視点から考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術者が良心に基づいて設計・製作することが技術者倫理であることを理解する。	・指導事項 高度な倫理観とすぐれた知識や技術が求められていることに留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(16)単元：倫理観を踏まえた設計 【知識・技能】 設計にたずさわる技術者には、高度な倫理観とすぐれた知識や技術が求められていることを理解して、その考えかたを身に付けている。 【思考・判断・表現】 製品が社会に及ぼす影響について、実際に起きている事例を通して技術者倫理の視点から考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術者が良心に基づいて設計・製作することが技術者倫理であることを理解しようとしている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
	(18)単元：環境に配慮した設計 【知識・技能】 実際の製品の中に活かされている環境負荷への配慮やライフサイクル設計の考え方を理解する。 【思考・判断・表現】 製品全体のライフサイクルを視野に入れ、循環型社会、エネルギーの有効利用、環境の保全を理解し、廃棄物を少なくする設計について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 資源やエネルギーの有限性を正しく理解し、環境への負荷を最小にする設計上の知識や方法を探究し、理解する。	・指導事項 循環型社会、エネルギーの有効利用、環境の保全に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(17)単元：環境に配慮した設計 【知識・技能】 実際の製品の中に活かされている環境負荷への配慮やライフサイクル設計の考えかたを理解している。 【思考・判断・表現】 製品全体のライフサイクルを視野に入れ、循環型社会、エネルギーの有効利用、環境の保全を理解し、廃棄物を少なくする設計について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 資源やエネルギーの有限性を正しく理解し、環境への負荷を最小にする設計上の知識や方法を探究し、理解しようとしている。	○	○	○	1

(19) 単元：ねじの用途と種類 【知識・技能】 ねじの基本・種類・用途を理解し、リード、リード角、ピッチ、ねじの条数の関係を理解する。 【思考・判断・表現】 ねじの山の特徴を理解し、用途に応じてどのようなねじを使用したらいいかを判断し、規格からねじを選択する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ねじに関心をもち、ねじの構造や種類・用途について探究し、理解する。	・指導事項 ねじの基本・種類・用途に留意し、リード、リード角、ピッチ、ねじの条数の関係に着目させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	(18) 単元：ねじの用途と種類 【知識・技能】 ねじの基本・種類・用途を理解し、リード、リード角、ピッチ、ねじの条数の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ねじの山の特徴を理解し、用途に応じてどのようなねじを使用したらいいかを判断し、規格からねじを選択する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ねじに関心をもち、ねじの構造や種類・用途について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
(20) 単元：ねじに働く力と強さ 【知識・技能】 ねじの原理を理解し、ねじに働く力からボルトの大きさの算出、適切なねじの選択ができ、実際に使用するときの留意点を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ねじの使用状況を判断して、ボルトの大きさを決めることができ、はめあい長さや緩み止めについて考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ねじが受ける荷重や、ねじりを受けるねじの強さに関心をもち、荷重に耐えるボルトの太さについて理解しようとしている。	・指導事項 実際に使用すること関連させ、ねじの原理を理解させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	(19) 単元：ねじに働く力と強さ 【知識・技能】 ねじの原理を理解し、ねじに働く力からボルトの大きさの算出、適切なねじの選択ができ、実際に使用するときの留意点を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ねじの使用状況を判断して、ボルトの大きさを決めることができ、はめあい長さや緩み止めについて考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ねじが受ける荷重や、ねじりを受けるねじの強さに関心をもち、荷重に耐えるボルトの太さについて理解しようとしている。	○	○	○	3
(21) 単元：軸 【知識・技能】 軸に作用する動力、ねじり、曲げを考察し、適切な方法で軸の直径を求め、規格から軸を選択できる知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 軸設計上の留意事項を踏まえ、軸が受ける荷重や断面形状を考慮して軸径の求めかたを考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸の種類と特徴を認識し、軸に働く力、軸の変形、強度・剛性などを理解する。	・指導事項 軸に作用する動力、ねじり、曲げに留意し、軸に働く力、軸の変形、強度・剛性に着目させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	(20) 単元：軸 【知識・技能】 軸に作用する動力、ねじり、曲げを考察し、適切な方法で軸の直径を求め、規格から軸を選択できる知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 軸設計上の留意事項を踏まえ、軸が受ける荷重や断面形状を考慮して軸径の求めかたを考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸の種類と特徴を認識し、軸に働く力、軸の変形、強度・剛性などを理解しようとしている。	○	○	○	2
(22) キー・スプライン 【知識・技能】 キーやスプラインの種類と用途を理解し、軸の径に応じたキーの寸法をJIS規格から選定することができるようになる。 【思考・判断・表現】 キーに加わる荷重の計算をもとに規格から選択することができる。スプラインなどの使用方法や用途を考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 第3章のせん断荷重との関わりを認識し、軸に対応するキーなどの選定に関心をもち、自分の言葉で表現する。	・指導事項 キーやスプラインの種類と用途に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	キー・スプライン 【知識・技能】 キーやスプラインの種類と用途を理解し、軸の径に応じたキーの寸法をJIS規格から選定することができる。 【思考・判断・表現】 キーに加わる荷重の計算をもとに規格から選択することができる。スプラインなどの使用方法や用途を考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 第3章のせん断荷重との関わりを認識し、軸に対応するキーなどの選定に関心をもち、自分の言葉で表現する。	○	○	○	1
定期考査			○	○		1
(23) 軸継手 【知識・技能】 軸継手の役目・種類・特徴を理解し、フランジ形たわみ軸継手の寸法を計算で求め、規格から選択できるようになる。 【思考・判断・表現】 軸継手の必要性和軸を一直線に保つためのくふうを考察できる。軸継手の用途と伝達する力を考え、大きさを規格から選択する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸継手やクラッチに関心をもち、その役目や種類・特徴を探究し、理解する。	・指導事項 軸継手の役目・種類・特徴に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	(22) 軸継手 【知識・技能】 軸継手の役目・種類・特徴を理解し、フランジ形たわみ軸継手の寸法を計算で求め、規格から選択できる。 【思考・判断・表現】 軸継手の必要性和軸を一直線に保つためのくふうを考察できる。軸継手の用途と伝達する力を考え、大きさを規格から選択する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸継手やクラッチに関心をもち、その役目や種類・特徴を探究し、理解しようとしている。	○	○	○	1
(24) 単元：軸受の種類 【知識・技能】 軸受の特徴を理解し、分類することができるようになる。 【思考・判断・表現】 用途を考えてどのような軸受を使用したらいいかを判断する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸受に関心をもち、その分類・特徴について探究し、理解する。	・指導事項 軸受の特徴に留意し、使用用途に着目させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	(23) 単元：軸受の種類 【知識・技能】 軸受の特徴を理解し、分類することができる。 【思考・判断・表現】 用途を考えてどのような軸受を使用したらいいかを判断する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸受に関心をもち、その分類・特徴について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
(25) 単元：滑り軸受 【知識・技能】 滑り軸受の役目・種類・構造・特徴を理解し、軸受の大きさを選択する方法や適切な材質を選ぶための知識を身に付け、ラジアル軸受のジャーナルを計算で求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 滑り軸受の種類・構造・特徴や設計法について考察する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 滑り軸受に関心をもち、その役目・種類・構造・特徴や重要性を認識し、設計のしかたについて探究し、理解する。	・指導事項 滑り軸受の役目・種類・構造・特徴に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	(24) 単元：滑り軸受 【知識・技能】 滑り軸受の役目・種類・構造・特徴を理解し、軸受の大きさを選択する方法や適切な材質を選ぶための知識を身に付け、ラジアル軸受のジャーナルを計算で求めることができる。 【思考・判断・表現】 滑り軸受の種類・構造・特徴や設計法について考察する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 滑り軸受に関心をもち、その役目・種類・構造・特徴や重要性を認識し、設計のしかたについて探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2

3 学 期	(26) 単元：転がり軸受 【知識・技能】 転がり軸受の役目・種類・構造・特徴や設計法を理解し、使用条件に基づいて転がり軸受を計算で求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 転がり軸受の種類・構造・特徴や設計法について考察でき、規格から選択する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 転がり軸受に関心をもち、その役目・種類・構造・特徴や重要性を認識し、設計のしかたについて探究し、理解する。	・指導事項 転がり軸受の役目・種類・構造・特徴に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(25) 単元：転がり軸受 【知識・技能】 転がり軸受の役目・種類・構造・特徴や設計法を理解し、使用条件に基づいて転がり軸受を計算で求めることができる。 【思考・判断・表現】 転がり軸受の種類・構造・特徴や設計法について考察でき、規格から選択する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 転がり軸受に関心をもち、その役目・種類・構造・特徴や重要性を認識し、設計のしかたについて探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
	(27) 単元：潤滑 【知識・技能】 潤滑のしくみ、潤滑方法、油穴や油溝について理解し、潤滑剤を特質に応じて使い分けができる知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 潤滑の目的によってどのような潤滑法・潤滑剤がよいかを考察する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 潤滑の重要性を認識し、いろいろな潤滑法を理解する。	・指導事項 潤滑のしくみ、潤滑方法、油穴や油溝に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(26) 単元：潤滑 【知識・技能】 潤滑のしくみ、潤滑方法、油穴や油溝について理解し、潤滑剤を特質に応じて使い分けができる知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 潤滑の目的によってどのような潤滑法・潤滑剤がよいかを考察する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 潤滑の重要性を認識し、いろいろな潤滑法を理解しようとしている。	○	○	○	1
	(28) 単元：密封装置 【知識・技能】 密封装置の役目・種類・構造・特徴や、密封装置の必要性を理解する。 【思考・判断・表現】 軸と軸受の状況や密封の目的を判断して、適切な種類・構造の密封装置を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 密封装置の種類と特徴、重要性を認識し、理解する。	・指導事項 密封装置の役目・種類・構造・特徴に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(27) 単元：密封装置 【知識・技能】 密封装置の役目・種類・構造・特徴や、密封装置の必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 軸と軸受の状況や密封の目的を判断して、適切な種類・構造の密封装置を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 密封装置の種類と特徴、重要性を認識し、理解しようとしている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
							合計
						70	

令和7年度（2学年用）教科 工業 科目 工業管理技術

教科：工業 科目：工業管理技術 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 2組～組

教科担当者：（2組：大場）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（実教出版 機械設計）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的か

科目 工業管理技術 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
製造業におけるものづくりの方法や各種の管理の大切さを理解する。 工業生産の運営と管理に関する知識と技能を習得する。	様々な分野の管理について考察し、より良い方法で生産を行うために思考・判断しそれを表現できるようになる。	より良い工業生産の運営と管理の方法について考察し、主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
(1)単元：職業とは 【知識及び技能】 職業と産業の意味や職業の三要素について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 職業の三要素の三つの側面から職業を検討し、自己の考えを表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 職業人としての誇りを持ち、与えられた仕事を確実に行う態度を身につけさせる。	・指導事項 職業を通して社会に貢献することを進路指導と関連させて指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 職業の三要素や雇用のミスマッチについて理解している。 【思考力、判断力、表現力】 職業の三要素について、経済性・社会性・個性の三つの側面から類推し考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 職業はどのように分類されているかに関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	1
(2)単元：産業とは 【知識及び技能】 産業の分類と産業構造の変化が就業構造にも影響していることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 産業の分類の構成比率の変遷から産業構造の変化が判断できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業の分類、雇用の変化など産業に関して関心をもたせる。	・指導事項 アウトソーシングでは雇用の変化にも留意する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 産業構造の変化の特徴、アウトソーシングについて理解している。 【思考・判断・表現】 第一、第二、第三次産業の構成比率の変遷から産業構造の変化が判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 産業はどのように分類されているかに関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	1
(3)単元：製造業とは 【知識・技能】 製造業における3要素について理解させる。 【思考・判断・表現】 なぜ国内市場の縮小が就職難や失業率の高める要因になっているのか考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産の拠点を海外へ移転させる現状について関心をもたせ、原因を考察させる。	・指導事項 企業の海外事業活動が行われる背景について他の専門科目と関連させて指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 製造業の競争力の特徴や製品の品質・価格・納期の需要の三要素について理解している。 【思考・判断・表現】 製造業の競争力について、主要製品の輸出額から類推し考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業が生産の拠点を海外に移転することや、国内市場の就職難や失業率との関連に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	1
(4)単元：起業とは 【知識・技能】 起業の意味、必要性、現状を理解させる。 【思考・判断・表現】 実際に起業をするための方法やアイデアを考えさせ、発表させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業のアイデアを具体化し、実行に移すまでの流れに関心をもち、定期考査	・指導事項 起業については会社の設立だけでなく、個人や企業内のグループが新たな事業をはじめることを含むことにも留意する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 起業の現状と過程を理解している。 【思考・判断・表現】 日本の開業率が低い要因を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 起業とは何か、どのようにするかなどについて関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○		○	1
			○	○		1
(5)単元：企業とは 【知識・技能】 社会の中で果たす役割や要求されることについて理解させる。 【思考・判断・表現】 消費者目線から企業への要求を考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業の形態について違いなどを説明することで関心をもたせる。	・指導事項 企業にとって人的要素がとくにたいせつであることに対し具体的に指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 共同企業の組織編成によって経営責任の内容が異なることを理解している。 企業として要求されることを調査し、レポートの作成や発表することができる。 【思考・判断・表現】 合名会社、合資会社、有限会社、株式会社、協同組合の特徴を比較し考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業の役割とは何かに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	1

1 学 期	(6)単元：管理組織 【知識・技能】 管理組織、企業組織やその業務、分類などについて理解させる。 【思考・判断・表現】 組織が存在するために必要だと思うことを考察させ、発表させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な製品を例に挙げ、管理組織の分類について関心をもたせる。	・指導事項 企業とは組織そのものであり、組織の3要素や第9章人事管理との関連についても配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ライン組織、ラインスタッフ組織の特徴を調査し発表することができる。 【思考・判断・表現】 管理組織の分類から特徴を比較し考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業はどのようなしくみで組織されているか、また管理組織と業務、企業組織の原理等に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	(7)単元：管理業務 【知識・技能】 生産要素の5Mや管理サイクルについて理解させる。 【思考・判断・表現】 生産要素や管理サイクルはなぜ必要なのか考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 管理業務の重要性について学ぶことで製造について関心をもたせる。	・指導事項 PDCAサイクルは工業管理業務の基本であり、裏見返しの管理サイクルとの関連に配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 商業と製造業の基本機能や工業管理業務を計画どおりに進行するため、計画、実施、確認、処置の管理サイクルが行われていることを理解している。 【思考・判断・表現】 生産活動の5Mや管理サイクルの内容を認識でき、管理業務の機能を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製造業の基本機能と管理サイクルの内容に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	(8)単元：製造業のしくみ 【知識・技能】 製造業の必要性について理解させる。 【思考・判断・表現】 なぜ生産の海外移転があるのか考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産のしくみを物の流れや製品のライフサイクルと再使用との関連について関心をもたせる。	・指導事項 ・製造物責任（PL）については、第6章の品質管理と品質保証と関連させて指導する。製品の部品や素材の再使用（リユース）や再生利用（リサイクル）では、第8章環境管理との関連について配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 製造業の海外移転の背景や商品開発力、製造技術の重要性を認識し、その概要を理解している。 製品のライフサイクルについては、製品の部品の再使用や素材の再生利用の状況を調査し、レポートを作成したり、発表することができる。 【思考・判断・表現】 物の流れや生産活動と情報の図から生産のしくみの概要を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産のしくみはどのようなになっているか、複写機の例を通して、物、生産の流れについて関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	(9)単元：工業管理のしくみ 【知識・技能】 各管理業務の基本的な目的・課題などを理解させる。 【思考・判断・表現】 各管理業務の課題についてどう解決していくか自分なりに考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでに学んだ管理サイクルの必要性を再確認することで仕事だけでなく日々の生活にも生かしていけることを気づかせる。	・指導事項 各管理業務も、管理サイクル（PDCAサイクル）が必要となることを指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 工業管理技術の重要性を認識し、工業管理業務の基本的な役割を理解し、管理サイクルに関する知識が身についている。 【思考・判断・表現】 生産活動に必要な情報や、生産活動の課題を解決するために必要な工業管理の役割について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 工業管理のしくみ、役割について関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	1
	(10)単元：生産管理の役割と意義 【知識・技能】 生産管理が生産計画と工程管理で構成されていることを理解させる。 【思考・判断・表現】 QCDを満足させるためには何が必要になってくるのか、これまでの学習から判断させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの製品がQCDを満足させているのか考えさせ製造に関しての関心を高める。	・指導事項 生産管理の体系については、第5章工程分析と作業研究との関連に配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 需要の3要素（QCD）や生産の5要素（5M）に関する知識が身についている。 【思考・判断・表現】 生産管理の体系、生産管理のPDCAサイクルから概要を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産管理・生産管理のPDCAサイクルとは何かについて関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	1
	(11)単元：生産形態 【知識・技能】 受注生産と見込み生産の違いや特徴を理解させる。 【思考・判断・表現】 身の回りの製品はどんなものが受注生産又は見込み生産なのか考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が使っているものの生産形態を知ることによって製造業についての関心を高める。	・指導事項 生産管理の歴史では、流れ生産方式、統合生産システム、セルシステムなどの出現の背景や特徴についても配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 生産形態から受注形態、生産量と品質、生産方式の概要が理解できる。 産業界における受注生産と見込生産、個別生産と連続生産の内容を調査し、レポートを作成したり、発表したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・受注生産と見込生産、個別生産と連続生産を比較しそれぞれの特徴を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産形態にはどのようなものがあるかなどについて関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1

2 学 期	(12)単元：生産計画 【知識・技能】 生産計画の機能、種類、特徴などを理解させる。 【思考・判断・表現】 工数計画が生産においてどんな役割を担っているか考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産計画の中にあるそれぞれの細かな計画の役割を知ることによって生産に関心をもたせる。	・指導事項 手順計画、日程計画では「機械実習」における要素実習や総合実習などと関連させ、作業標準書、日程計画の作成にも配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 生産計画の機能、手順計画、日程計画、在庫計画の目的・内容を理解し、作成に関する知識が身に付いている。 各例題を参考にして、工程表、ガントチャートによる機械別計画、パート図、流動数曲線などを作成する技能をもっている。 【思考・判断・表現】 生産計画を構成している手順計画、日程計画、在庫計画の目的・効果を類推し考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産計画はどのような計画により構成されているか、とくに各図表は、どのような目的で作成されるのかなどについて関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	(13)単元：工程管理 【知識・技能】 差立、進捗管理、余力管理、現品管理の概要を理解させる。 【思考・判断・表現】 工程管理中に起こりうる問題点等の対応を判断させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 工程管理の必要性を学習することによって関心をもたせる。	・指導事項 差立（作業指示）、進捗管理では、実習などの関連に配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 工程管理に関する統制機能、重要性について理解し、生産情報の収集・処理を適時・的確に行う知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生産管理サイクルを短く、早く、強く回すことの重要性について各管理の統制の手法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 工程管理は、どのような内容で構成され、統制機能があるかなどについて関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	(14)単元：物流 【知識・技能】 部品等の調達、製品の保管、輸送、販売、廃棄物の回収等、生産に関する流通の一部である物流について理解させる。 【思考・判断・表現】 ものの流れについて考察し、自己の考えと実際の物流の違いについて学習させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産に関する流通の一部である物流について学ぶことで経済活動について関心をもたせる。	・指導事項 市場ニーズや環境問題、リサイクル処理など物流の新しい流れについても配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 物流の概要についての知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物流について理解し、課題等を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産をささえる物流について関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
	(15)単元：品質管理の意義と目的 【知識・技能】 品質管理の手法、品質検査、品質保証などを理解させる。 【思考・判断・表現】 品質検査の意義や目的について考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が使っている製品の品質管理の手法等について学ぶことでhん室管理の意義や目的について関心をもたせる。	・指導事項 品質管理を最も経済的で、最も有用で、消費者が求める品質の製品を開発し、設計し、生産し、サービスすることを基本にして指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 工程で品質をつくり込む重要性や企業の品質に対する基本的な考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 性能と品質が誤解されないよう明示でき、品質は検査によって確保されるものではなく、工程でつくられるものであることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業で行われている品質管理活動に関心をもって意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	(16)単元：品質管理の手法 【知識・技能】 全数検査、抜取検査等の内容の概要を理解させ、手法を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 同一方法でつくられた製品でも品質にばらつきが起きることについて考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 統計的品質管理の基礎として実施する条件や留意事項、データを取る目的について理解させ、工程の管理、検査、品質の推定等と関連付けをさせる。	・指導事項 市販品や実習製品などのばらつきを調べて、度数分布表などを作成させる。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 データをとる目的について基本的な考え方を理解している。 度数分布表からヒストグラムを描くことができる。 【思考・判断・表現】 ピクトグラムや管理図を正しく読み、品質が保たれているか、異常があるのか思考し判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 品質特性という概念を理解し、品質管理の目的や品質管理の手法である統計的品質管理に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	(17)単元：品質検査 【知識・技能】 身のまわりの製品で全数検査、抜取検査を要するものを調査し、レポートにまとめさせる。 【思考・判断・表現】 全数検査と抜取検査を比較し、それぞれの特徴を考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 検査特性曲線が抜取検査の性質を表していることや、検査特性曲線のみかたに関心をもたせる。	・指導事項 検査特性曲線については、生産者危険・消費者危険と関連させて指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 身のまわりの製品で全数検査、抜取検査を要するものを調査し、レポートにまとめることができる。 【思考・判断・表現】 全数検査と抜取検査を比較し、それぞれの特徴を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 検査特性曲線が抜取検査の性質を表していることや、検査特性曲線のみかたに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	(18)単元：品質保証 【知識・技能】 日本工業規格、製造物責任法、品質マネジメントシステムの役割を理解し、品質保証に関する知識を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 製造物の欠陥の種類を分析し、品質保証の重要性などを考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業における品質の責任について関心をもたせる。	・指導事項 世界共通の品質管理に関する規格が必要となることを視野に入れた品質保証の状況に配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 日本工業規格、製造物責任法、品質マネジメントシステムの役割を理解し、品質保証に関する知識を身に付けている。 品質管理では、経験や勘でなくデータに基づく管理が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 製造物の欠陥の種類を分析し、品質保証の重要性などを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業における品質の責任について関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	2

(19) 単元：安全衛生管理の役割と意義 【知識・技能】 企業における安全衛生活動について理解している。また、効果を上げるためにはどういった意識が必要なのかも理解させる。 【思考・判断・表現】 従業員の安全と健康を守るための活動について何を行えばよいか具体策を考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業活動に起因する災害や職業性疾患、安全衛生管理の目的・内容に関心をもち、意欲的に取り組ませる。	・指導事項 安全衛生管理は、働く人を災害から守り、企業経営の重要な柱であることに留意し指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1 台端末の活用等	【知識・技能】 企業における安全衛生活動について理解している。また、効果を上げるためにはどういった意識が必要なのかも理解している。 【思考・判断・表現】 従業員の安全と健康を守るための活動について何を行えばよいか具体策を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業活動に起因する災害や職業性疾患、安全衛生管理の目的・内容に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	1
(20) 単元：労働災害 【知識・技能】 労働災害の防止では、300運動やヒヤリ・ハット活動、KY活動の目的・内容を理解し身につける。 【思考・判断・表現】 労働災害統計から、災害予防はどのようにあるべきか、学校の各実習で経験したことなどを通して考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産性向上は、作業者の安全を確保したうに成立するものであることを認識し、意欲的に取り組ませる。	・指導事項 災害の発生率、災害の重さなどを関連させて指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1 台端末の活用等	【知識・技能】 労働災害の防止では、300運動やヒヤリ・ハット活動、KY活動の目的・内容を理解し身につけている。労働災害統計では、度数率、強度率を理解し、それらを計算で求めることができる。 【思考・判断・表現】 労働災害統計から、災害予防はどのようにあるべきか、学校の各実習で経験したことなどを通して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生産性向上は、作業者の安全を確保したうに成立するものであることを認識し、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
(21) 安全衛生活動 【知識・技能】 ヒヤリ・ハット報告書、危険予知訓練シートや5S活動の内容を理解させる。 【思考・判断・表現】 実習中においてヒヤリ・ハットしたことを話し合い、レポートにまとめさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 職場で行われている安全衛生教育の必要性について理解し、意欲的に取り組ませる。	・指導事項 実習における安全作業と関連させて指導し、安全衛生活動に学生・生徒が参加できるよう配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1 台端末の活用等	【知識・技能】 ヒヤリ・ハット報告書、危険予知訓練シートや5S活動の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 実習中においてヒヤリ・ハットしたことを話し合い、レポートにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 職場で行われている安全衛生教育の必要性について理解し、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	6
(22) 安全衛生管理組織 【知識・技能】 学校では、学校安全計画を作成し、それを実行することが義務づけられていることを理解させる。 【思考・判断・表現】 学校で実行されている学校安全計画の課題などを考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業環境と労働衛生について理解し、意欲的に取り組ませる。	・指導事項 生産部門で必要とされる資格や、安全衛生管理の義務については、表7-8、表7-9の各資格の取得を奨励し、安全教育の重要性を認識させる。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1 台端末の活用等	【知識・技能】 学校では、学校安全計画を作成し、それを実行することが義務づけられていることを理解している。 【思考・判断・表現】 学校で実行されている学校安全計画の課題などを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業環境と労働衛生について理解し、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	3
(23) 単元：環境管理の役割と意義 【知識・技能】 環境管理の役割と意義を、企業、学校、地域の環境保全活動の状況から理解させる。 【思考・判断・表現】 地域における環境保全活動の内容について類推し、考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境管理の役割の概要について関心をもち、意欲的に取り組ませる。	・指導事項 地域における環境保全活動の現状などについても配慮する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1 台端末の活用等	【知識・技能】 環境管理の役割と意義を、企業、学校、地域の環境保全活動の状況から理解できる。 【思考・判断・表現】 地域における環境保全活動の内容について類推し、考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境管理の役割の概要について関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	1
(24) 単元：環境問題への取り組み 【知識・技能】 環境問題への取り組みについては、四大公害、7公害の概要から、発生の経緯や内容について理解させる。 【思考・判断・表現】 四大公害や7公害の概要と環境保全の例を参考にして、地球規模での環境保全について考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業と地域社会の環境問題などの取り組みの概要について関心をもち、意欲的に取り組ませる。	・指導事項 7公害の概要と環境保全の例を踏まえて、法的な整備や技術革新の状況と関連させて指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人1 台端末の活用等	【知識・技能】 環境問題への取り組みについては、四大公害、7公害の概要から、発生の経緯や内容について理解している。地球規模の環境保全では、先進国、開発途上国の状況や、各企業における3Rへの取り組みの状況について調査し、レポートにまとめることができる。 【思考・判断・表現】 四大公害や7公害の概要と環境保全の例を参考にして、地球規模での環境保全について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業と地域社会の環境問題などの取り組みの概要について関心をもち、意欲的に学習に取り組み、学習態度はまじめである。	○	○	○	2

(25) 単元：企業の環境保全への取り組み 【知識・技能】 企業の環境保全への取り組みについては、3 R、環境管理の P D C A サイクルを通して理解させる。 【思考・判断・表現】 循環型社会の形成や 3 R への取り組み、省エネルギーなどへの取り組みなどから企業の環境保全への取り組み状況を考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境保全に関する具体的な取り組みに関して関心をもたせる。	・指導事項 循環型社会形成推進基本法が制定され、廃棄物・リサイクルの対策が具体化したことなどを指導する。 ・教材 工業管理技術 自作プリント ・机間指導・一人 1 台端末の活用等	【知識・技能】 企業の環境保全への取り組みについては、3 R、環境管理の P D C A サイクルを通して理解している。企業の環境問題への取り組みの現状や、法的整備の状況を調査し、レポートにまとめることができる。 【思考・判断・表現】 循環型社会の形成や 3 R への取り組み、省エネルギーなどへの取り組みなどから企業の環境保全への取り組み状況を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境保全に関する具体的な取り組みに関して関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
						合計
						70

令和7年度（2学年用）教科 工業 科目 デザイン実践

教科：工業

科目：デザイン実践

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 2 組

教科担当者：（2組：川口 山崎）

使用教科書：（デザイン実践・製図

教科 工業

の目標：

【知識及び技能】工業におけるデザインについて基礎的な知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業におけるデザインにおいて観察と表示、表現の技法、平面構成等を合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】工業におけるデザインに関する基礎的な知識・技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を養う。

科目 デザイン実践

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
デザイン実践について、工業におけるデザインの必要性や重要性を理解し、自己の知識をカタチにする技術を身に付けるようにする。	デザイン実践について、科学的な根拠と倫理観を踏まえた観察と表示、表現の技法、平面構成等を合理的かつ創造的に解決する力を養う。	デザイン実践を工業技術として活用する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元：工業とデザイン 【知識及び技能】 デザインの始まりから現代までの流れの知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 デザインの始まり UDとSDに向けて 製図(図面の表し方) ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	5
	B 単元：デザインの領域 1 【知識及び技能】 デザインの領域について知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 ビジュアルデザイン（伝える） プロダクトデザイン 製図(図面の表し方) ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元：デザインの領域 2 【知識及び技能】 デザインの領域について知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 環境デザイン ユニバーサルデザイン サステナブルデザイン 製図(図面の表し方) ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用 等 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	6
	D 単元：工業製品の企画と計画 【知識及び技能】 工業製品の企画と計画について知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 マーケティングについて デザインにおける調査 調査情報の解説と思考法 製図(図面の表し方) ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	E 単元：ニーズとデザイン 【知識及び技能】 ニーズとデザインについて知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 ニーズについて 組織と進行管理 製図(図面の表し方) ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	12

2 学 期	F 単元：デザインと創造活動 【知識及び技能】 造形活動とデザインについて知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 造形の計画 デザイナーに求められる力 デザインと創造 観察と表示 製図(図面の表し方) ・教材 教科書等 ・一人1 台端末の活用 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	G 単元：ビジュアルデザイン 【知識及び技能】 ビジュアルデザインについて知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 グラフィックデザイン パッケージデザイン 情報とデザイン 製図(CAD製図) ・教材 教科書等 ・一人1 台端末の活用 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	15
	H 単元：プロダクトデザイン1 【知識及び技能】 プロダクトデザインについて知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 プロダクトデザインについて インダストリアルデザイン 製図(CAD製図) ・教材 教科書等 ・一人1 台端末の活用 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 単元：プロダクトデザイン2 【知識及び技能】 工芸品のデザインについて知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 工芸品のデザイン 素材と加工技術 製図(CAD製図) ・教材 教科書等 ・一人1 台端末の活用 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	12
	J 単元：環境デザイン 【知識及び技能】 環境デザインについて知識を身に付けるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な根拠や倫理観を持って思考し判断・表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 得た知識をさらに発展し学びに向かう力としている。	・指導事項 環境デザイン 住宅間のデザイン 都市空間のデザイン 製図(CAD製図) ・教材 教科書等 ・一人1 台端末の活用 プレゼンテーションの投影 課題の提示・提出	【知識・技能】 各分野における用語や手法を身に付けようとしているか 【思考・判断・表現】 デザイン作品や作例などを科学的な根拠と倫理観をもって観察や表現をしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 工業におけるデザインについて自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいるか	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 105

年間授業計画

令和7年度（2学年用）教科 工業 科目 生産技術

教科：工業

科目：生産技術

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 2組～組

教科担当者：（2組：内田）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（実教出版 生産技術）

教科 工業

の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的か

科目 生産技術

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生産技術について自動化やネットワーク化を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	生産技術に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	人と機械が協調して生産性を改善する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(1)単元：生産技術を学ぶにあたって ・工業技術の発達と工業と社会のかかわりで生産技術の発展を理解させる。 ・国際化への対応とものづくりの技術倫理で企業の社会的責任と技術者としての心得を理解させる。 ・地球環境問題と生産で循環型生産システムを考えさせる。	・指導事項 ①「生産技術」を学ぶにあたっての1～5について理解させる。 ・教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・少種多量生産から多種少量生産や変種変量生産へと移行していることを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・地球環境問題と生産の考え方を「自動車における循環型産業システム」（教p14）を例に考察し、説明できる能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生産システム技術の発達や工業技術の発展と社会との関係などに関心をもって、意欲的に学習に取り組む、学習態度は真剣である。	○	○	○	1
	(2)単元：第1章 直流回路 1、電気回路 ・直流と交流の違いを理解させ、起電力・電位差・電圧を正しく取り扱えるようにする。	・指導事項 ①直流と交流の違いを明確にさせる。 ②起電力・電位差・電圧を正しく取り扱えるようにする。 ・教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・電流の向きと自由電子の向きの関係、電流と電荷の関係、電源・負荷・起電力などの用語に関する知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 ・電位・電位差・電圧・電流を水そうの水位・水位差・水圧・水流と対比させて考察し、的確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	(3)単元：第1章 直流回路 2、オームの法則 ・オームの法則、電圧降下、電池の内部抵抗を用いた回路計算について理解させる。 ・抵抗の接続とキルヒホッフの法則を用いた回路計算等について理解させる。	・指導事項 ①オームの法則を活用できるようにする。 ②電圧降下の意味を正しく理解させる。 ③電池の中に抵抗があることを理解させる。 ④直流回路の計算に習熟し、オームの法則が十分利用できるようにする。 ⑤キルヒホッフの法則を用いて、電気回路に流れる電流の大きさを求めることができる。 ・教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・オームの法則、キルヒホッフの第1法則および第2法則を用いて回路計算を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・キルヒホッフの第1法則 $\sum I = 0$ を、支流1、2の水量の和が本流になるというたとえで考察し、的確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・オームの法則、電圧降下などに関心をもって、意欲的に学習に取り組む、学習態度は真剣である。	○	○	○	11
	(4)単元：第1章 直流回路 3、抵抗の性質 ・抵抗率とは何か、温度による抵抗の変化について理解させる。	・指導事項 ①抵抗率の意味を正しく理解させる。 ②温度によって、抵抗器の抵抗値が変化することを理解させる。 ・教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・オームの法則を確認する測定回路で、抵抗値を一定にし、電圧を変化したとき電流の値を読み取る技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ・電気抵抗の変化を利用した温度計について、白金抵抗線ホイートストンブリッジの一部に使用し、ブリッジの働きから温度測定ができることを考察し、的確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・抵抗の直列接続と並列接続などに関心をもって、意欲的に学習に取り組む、学習態度は真剣である。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	(5)単元：第1章 直流回路 4電力と電流の熱作用 ・ジュール熱とは何か、電力および電力量、許容電流について理解させる。	・指導事項 ①電力、電力量の計算ができるようにする。 ②ジュール熱について理解させる。 ③許容電流について理解させる。 ・教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・ジュールの法則、電力と電力量について理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電力と電力量などに関心をもって、意欲的に学習に取り組む、学習態度は真剣である。	○		○	4

(6)単元：第1章 直流回路 5 電流の化学作用と電池 ・ 化学反応およびイオンのふるまいについて理解させ、鉛蓄電池、太陽電池、燃料電池について理解させる。	・ 指導事項 ① 化学反応、イオンのふるまいについて正しく理解させる。 ② 鉛蓄電池、太陽電池に重点を置く。 ③ 電気自動車に使う電池を理解させる。 ・ 教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・ 電気分解によって析出する物質の量に関するファラデーの法則を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ・ 地球環境問題の考え方を「太陽電池」「燃料電池」と関連付けて考察し、的確に表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 電気分解、一次電池と二次電池、太陽電池や燃料電池などに関心をもって、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	○	○		4
(7)単元：第2章 磁気と静電気 1 電流と磁気 ・ 磁気について正しく理解させ、磁気に関するクーロンの法則を用いて計算できるようにする。 ・ アンペア右ねじの法則について理解させる。	・ 指導事項 ① 磁気について正しく理解させる。 ② クーロンの法則を用いて計算ができるようにする。 ・ 教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・ 磁気に関するクーロンの法則を理解し、計算によって磁力の強さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 地球の北極にS極があり、南極にN極があるため、磁針は南北を指し、その地磁気があるため磁針の伏角が現れることを考察し、的確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 磁気に関するクーロンの法則などに関心をもって、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
(8)単元：第2章 磁気と静電気 2 磁気作用の応用 ・ 電流による磁界の発生、磁界中の電流に働く力の大きさと向きについて理解させ、直流電動機および直流発電機の原理を理解させる。	・ 指導事項 ① 電流による磁界の発生を理解させる。 ② 磁界中の電流に働く力の方向と大きさを理解させる。 ③ 直流電動機の原理を理解させる。 ④ 誘導起電力の向きを理解させ、その大きさを求めることができるようにする。 ⑤ 直流発電機の原理を理解させる。 ・ 教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・ フレミングの左手の法則、右手の法則が理解でき、直流電動機・直流発電機の原理を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ フレミングの左手（右手）の法則、誘導起電力に関するファラデーの法則などに関心をもって、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	○		○	7
(9)単元：第2章 磁気と静電気 3 静電気 ・ 静電気と静電力について理解させ、静電気に関するクーロンの法則を用いて計算ができるようにする。 ・ コンデンサの構造および機能について理解させる。 ・ 電荷、電圧、静電容量に関わる計算ができるようにする。	・ 指導事項 ① 静電気と静電力について理解させる。 ② クーロンの法則を用いて計算ができるようにする。 ③ コンデンサの構造および機能について理解させる。 ④ 電荷、電圧、静電容量に関わる計算ができるようにする。 ・ 教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・ 静電気に関するクーロンの法則を理解し、計算によって静電力を求めることができる。 ・ コンデンサにかかわるQ、V、Cの関係を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・ 雷の発生は、静電気の放電現象であり、避雷針によって落雷を防止することについて考察し、説明する能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 静電気に関するクーロンの法則などに関心をもって、意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
(10)単元：第3章 交流回路 1 交流の取り扱い ・ 周期、周波数、位相、瞬時値、実効値について理解させ、R、L、Cの単独回路における電圧、電流、インピーダンスに関する計算ができるようにする。	・ 指導事項 ① 周期、周波数、位相、実効値、平均値などについて正しく理解させる。 ② R、L、Cの単独回路における電圧、電流、インピーダンスの関係を理解させ、計算できるようにする。 ・ 教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・ 抵抗・コイル・コンデンサに流れる交流について、位相関係を理解し、ベクトル表示することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 磁界中でコイルを回転させると、コイル中に正弦波交流起電力が発生することを、図を描いて考察し、的確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 正弦波交流について、周期と周波数、実効値と平均値などに関心を持ち、交流回路におけるオームの法則を用いて回路の計算ができるようになるよう努める。	○	○	○	4
(11)単元：第3章 交流回路 2 交流回路 ・ RLC直列回路のインピーダンス、電流、電圧および位相差の関係を理解させ、計算できるようにする。	・ 指導事項 ① RLC直列回路のインピーダンス、電流、電圧および位相差の関係を理解させ、計算できるようにする。 ② 共振回路について理解させる。 ・ 教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・ RL・RC・RLC直列回路のインピーダンスおよび電流に対する電圧の位相角の表し方が理解できる。 【思考・判断・表現】 ・ 誘導性リアクタンスおよび容量性リアクタンスの周波数特性を図を描いて考察し、的確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 複素平面と交流回路 (p.97,98) に関心を持ち、複素数を用いた回路の計算ができるように努める。	○	○	○	4

3 学 期	(1 2)単元：第3章 交流回路 3 交流電力 ・交流回路における電力としての皮相、有効、無効電力をそれぞれの単位とともに理解させ、計算できるようにする。 ・力率について改善を含め理解させる。	・指導事項 ①交流回路における電力としての皮相、有効、無効電力をそれぞれの単位とともに理解させ、計算できるようにする。 ②力率の改善について理解させる。 ③単相誘導電動機の原理を理解させる。 ・教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・交流回路の有効電力・皮相電力・無効電力・力率について理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 交流電力と力率などに関心をもち学習に取り組み、学習態度は真剣である。	○		○	3
	(1 3)単元：第3章 交流回路 4 三相交流 ・三相交流の結線方法を理解させ、三相交流の電圧、電流の計算ができるようにする。	・指導事項 ①三相交流の結線方法を理解させ、三相交流の電圧、電流の計算ができるようにする。 ②三相交流電力の計算ができるようにする。 ・教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・交流回路の有効電力・皮相電力・無効電力・力率について理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Y結線と△結線などに関心をもち、三相交流電力を計算で求められるよう努め、以上の内容について意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	○		○	3
	(1 4)単元：第3章 交流回路 5 回転磁界と三相誘導電動機 ・回転磁界と三相誘導電動機の原理を理解させる。	・指導事項 ①回転磁界の原理を理解させる。 ②三相誘導電動機の原理と構造を理解させる。 ・教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・単相誘導電動機および三相誘導電動機の回転原理について理解できる。 ・三相誘導電動機について、構造、回転子巻線に発生する誘導起電力、等価回路、速度特性、トルク特性、始動法の技能を習得している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・火力・原子力・水力その他の発電方式に関心をもち、単相2線式、単相3線式、三相3線式および受電設備の学習に意欲的に取り組む。	○		○	2
	(1 5)単元：第3章 交流回路 6 電気設備 ・発電の方式、種類、送電方式、変圧器の原理を理解させ、配電方式の特徴、受電設備の役割を理解させる。 ・電動機の種類と選択方法、電熱設備の原理と種類、照明装置、屋内配線用図記号と単線図・複線図、電気通信の種類などについて理解させる。 ・法律や資格によって安全を確保していること、事故の種類と安全策、特殊な場所で使用する機器の安全策について理解させる。	・指導事項 ①発電の方式、種類、送電方式を理解させる。 ②配電方式と特徴を理解させる。 ③生産工場における電動機、電熱設備、照明設備の種類や用途について理解させる。 ④法律や資格で安全を確保していることを理解させる。 ⑤事故の種類と安全策を理解させる。 ⑥特殊な場所で使用する機器の安全策を理解させる。 ・教材 実教出版「工業755生産技術」 実教出版「生産技術 演習ノート」 タブレット端末	【知識・技能】 ・電熱設備と照明設備の代表的な例について理解できる。 ・電気設備使用上の安全確保についての知識が身に付いている。 ・電圧の種別、低圧・高圧・特別高圧について、電気設備技術基準を調べ、実際の仕事を適切に処理する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・電気設備を使用する際の安全確保について、漏電事故・短絡事故・感電事故・静電気事故などの防止対策を考察し、的確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電熱設備・照明設備・屋内配線・事故防止などの学習に意欲的に取り組み、学習態度は真剣である。	○	○	○	3
	定期考査				○	○	
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 工業 科目 課題研究

教科： 工業 科目： 課題研究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 2 組

教科担当者：（ 2 組：川口 鈴木 大場 内田 ）

使用教科書：（ 工業技術基礎・機械実習 1・機械実習 2（実教出版）・自校作成プリント ）

教科 工業 の目標： 工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通じて、機械現象を量的に扱うに必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 工業に関する諸事象の相互関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき判断し表現する力を身に付け、工業技術の発展に対応し解決する能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 諸現象に関心をもち、自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標： 工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てることを目標とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・研究内容については、一定の理解と知識が得られたか。	・計画について、常に検証し、効果的な方法を探る努力をしているか。	・研究内容について理解し、実習に関心をもち、自ら進んで課題解決しようとしているか。
・調査・実験・研究では、調査方法、実験方法、研究方法が身に付けることができたか。	・収集した情報を正しく整理し判断材料としているか。	また、期限までに報告書の提出が出来ているか。
	・研究内容を分かりやすくまとめ、発表できているか。	発表のプレゼン資料が出来ているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A オリエンテーション 【知識及び技能】 ・研究の趣旨を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・研究の過程を構成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に取り組む。	・指導事項 「課題研究」の授業について理解させる。 ・教材 独自教材 ・一人1台端末の活用 調べ学習、副教材の提示	【知識・技能】 ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・年間を通した流れを把握しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に取り組んだか。	○	○	○	3
	B 植物栽培研究について 子供の遊器具研究について 制御ロボット研究について PCによるゲーム研究について 自動車構造研究について 【知識及び技能】 ・研究及び課題については、一定の解決が出来ようになる。 ・調査・実験・研究では、調査方法、実験方法、研究方法が身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・計画について、常に検証し、よりよい方法を探る努力をする。 ・収集した情報を正しく精査し判断材料として活用できるようにする。 ・課題解決の内容を分かりやすくまとめ、発表する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題研究の内容について理解し、課題研究に関心をもち、自ら進んで課題解決に取り組む。 ・授業で当初の計画通りに課題解決に向けた努力を主体的に積極的に取り組む。 【知識及び技能】 実習で学習したことを理解し、その知識を作業の中に取り入れながら実施できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 課題研究の授業内容について理解し、課題研究に関心をもち、自ら進んで課題解決しようとする力を身に付けさせる。	○植物栽培研究 ①植物栽培の基礎について理解させる。 ○子供の遊器具研究について ①設計及びデザイン図面化する練習をさせる。 ○制御ロボット研究 ①設計及びデザイン図面化する練習をさせる。 ○PCによるゲーム研究について ①デザインを図形化してアプリケーションソフトの操作ができるようにさせる。 ○自動車構造研究について ①自動車の構造を理解させる。	【知識・技能】 ・研究内容及び課題については、一定の解決が得られたか。 ・調査・実験・研究では、調査方法、実験方法、研究方法が身に付いたか。 【思考・判断・表現】 ・計画について、常に検証し、よりよい方法を探る努力をしているか。 ・収集した情報を正しく精査し判断材料としているか。 ・課題解決の内容を分かりやすくまとめ、発表できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題研究の授業内容について理解し、課題研究に関心をもち、自ら進んで課題解決しようとしているか。 ・授業で当初の計画通りに課題解決に向けた努力を主体的に積極的にしているか。	○	○	○	33
2 学 期	【知識及び技能】 研究テーマに沿った内容を理解し、その知識を作業の中に取り入れながら実施できる。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 班員と協力して課題研究に取り組む。期限までにレポート提出が出来る。 【知識及び技能】 研究テーマに沿った内容を理解し、その知識を作業の中に取り入れながら実施できる。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 班員と協力して課題研究に取り組む。パネル発表が出来る。	○植物栽培研究について ①植物栽培の基礎を学んだ上で栽培容器の設計をさせる。 ○子供の遊器具研究について ①自ら設計及びデザイン図をCADソフトを用いて作成させる。 ○制御ロボット研究 ①制御の仕組みや構造を理解し、試作と実験をさせる。 ○PCによるゲーム研究について ①アプリケーションソフトを用いて図形の作画と動作プログラムを構築させる。 ○自動車構造研究について ①アプリケーションソフトを用いて設計と製図をさせる。	【知識・技能】 ・研究内容及び課題については、一定の解決が得られたか。 ・調査・実験・研究では、調査方法、実験方法、研究方法が身に付いたか。 【思考・判断・表現】 ・計画について、常に検証し、よりよい方法を探る努力をしているか。 ・収集した情報を正しく精査し判断材料としているか。 ・課題解決の内容を分かりやすくまとめ、発表できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題研究の授業内容について理解し、課題研究に関心をもち、自ら進んで課題解決しようとしているか。 ・授業で当初の計画通りに課題解決に向けた努力を主体的に積極的にしているか。	○	○	○	42

3 学 期	【知識及び技能】 研究テーマに沿った内容を理解し、その知識を作業の中に取り入れながら実施できる。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 班員と協力して課題研究に取り組む。パネル発表が出来る。	○植物栽培研究 ・調査をして推論した理論値と実際に出た結果を比較して考察させる。 ○子供の遊器具研究 ・実際に製作した器具が安全に扱い出来るか検証させる。また不具合がある場合改善させる。 ○制御ロボット研究 ・製作したロボットのプログラミングを改善して安全に動く物にさせる。 ○PCによるゲーム研究 ・プログラムを起動して改善と修正をさせる。 ○自動車構造研究 ・実際に製作した車両が安全に運転制動できるか確認させ、改善させる。 発表会が実施できるようにさせる。	【知識・技能】 研究内容を理解できているか。また、その知識を作業の中に取り入れながら実施できているか。 【思考・判断・表現】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来ているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究テーマを安全に配慮して作業等を集中できているか。 各研究内容を把握できているか。 発表会ができるように研究内容をまとめさせる。	○	○	○	27
							合計
							105

高等学校 令和 7 年度（3 学年用） 教科 工業 科目 実習

教科：工業

科目：實習

单位数： 4 单位

対象学年組：第 3 学年 2 組

教科担当者：（ 2組：鈴木 山崎 内田 ）

使用教科書：（工業技術基礎・機械実習1・機械実習2（実教出版）・自校作成プリント）

教科 工業

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

の目標： 上業の元力・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、積極的な資質・能力を育成することを目指す。

工業に関する諸事象の相互関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき判断し表現する力を身に付け、工業技術の発展に対応し解決する能力を養う。

諸現象に関心をもち、自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・課題については、一定の理解が得られたか。 ・調査・実験・研究では、調査方法、実験方法、研究方法が身に付いたか。	・計画について、常に検証し、よりよい方法を探る努力をしているか。 ・収集した情報を正しく精査し判断材料としているか。 ・実習の内容を分かりやすくまとめ、発表できているか。	・実習の授業内容について理解し、実習に関心をもち、自ら進んで課題解決しようとしているか。また、期限までにレポート提出が出来ているか。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション ・実習に向けての心構えや意義必要性を励行できているか。 ・実習で行う内容などについて理解することが出来ているか。 ・実習で必要な物品・器具の管理保管ができていないか。	・実習指導書及び実習用具等の配布、実習上の注意を理解させる。 ・実習では、2 学年までの知識と技術を生かして創意工夫を行い、能動的に授業に取り組ませる。 ・実験では、週ごとのテーマと内容を理解して積極的に取り組ませる。 ・年間を通して協働作業を励行させる。	・実習に向けての心構えや意義必要性を励行できている。 ・実習で行う内容などについて理解することが出来ている。 ・実習で必要な物品・器具の管理保管ができていない。	○	○	○	3
	【知識及び技能】 実習で学習したことを理解しその知識を作業の中に取り入れながら実施できるか。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来るか。 【学びに向かう力、人間性等】 班員と協力して実習に取り組む。期限までにレポート提出が出来るか。	○旋盤・フライス実習 ①切削工具の取り付けが正しくでき、安全に配慮して機械の操作を修得させる。 ②基本的な切削理論を理解し、各種材料の特性に合わせて切削条件を算出させる。 ③0 点合わせが正確にでき、切込みが正確にさせる。 ④切削の状態を正確に把握でき、目的の形状、寸法まで正確に到達させる。 ⑤金属の表面処理の方法と手順を学び丁寧かつ正確に作業させる。 ○制御実習 ①BLE(ブルートゥース) の使い方を理解させる。 ②スマホやタブレットからBLEでマイコンボードにデータを送るプログラムを理解させる。 ③DCモーターの遠隔操作(BLE)を理解させる。 ④BLT通信で、マイコンボードに繋がれたモーターの正転・反転する制御の原理を理解させる。 ⑤サーボモータの遠隔操作(BLE)を理解させる。 ⑥BLT通信で、マイコンボードに繋がれたサーボモーターの正転・反転する制御の原理を理解させる。 ⑦BLEで車両ラジコンの製作する。 ⑧BLEで遠隔操作できる車両を製作する。また、その原理とプログラムを学ばせる。 ⑨サーボモーターの製作する。 ⑩PID制御を活用したサーボモーターを製作し、その原理とプログラムを学ばせる。 ⑪倒立振子の製作する。 ⑫ジャイロセンサーとPID制御を活用した倒立振子を製作し、その原理とプログラムを学ばせる。 ○電気計測実習 ①グラフの読み書きを修得させる。 ②基本的な比例・反比例のグラフの書き方を修得させる。 ③電気計測機器の取り扱いを理解させる。 ④直流電圧計、直流電流計の各部の名称を知り、取扱い方、つなぎ方の基本的な使用方法を学ぶ。 ⑤オームの法則の実験を理解させる。 ⑥電圧電流I抵抗Rに関する『オームの法則』を確認する。 ⑦ダイオードの静特性測定を理解させる。 ⑧各種ダイオードの静特性を測定し、その働きを調べる。 ⑨トランジスタの静特性を理解させる。 ⑩npn トランジスタ2SC1815のエミッタ接地における出力特性をしらべ、トランジスタの取り扱いに習熟させる。	【知識・技能】 実習で学習したことを理解できているか。また、その知識を作業の中に取り入れながら実施できているか。 【思考・判断・表現】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来ているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮して作業に集中できているか。 加工の状態を把握できているか。 期限までにレポート提出が出来ているか。	○	○	○	60
				○	○		
				○	○	○	
				○	○		1
2 学期	【知識及び技能】 実習で学習したことを理解しその知識を作業の中に取り入れながら実施できるか。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来るか。 【学びに向かう力、人間性等】 班員と協力して実習に取り組む。期限までにレポート提出が出来るか。	⑤オームの法則の実験を理解させる。 ⑥電圧電流I抵抗Rに関する『オームの法則』を確認する。 ⑦ダイオードの静特性測定を理解させる。 ⑧各種ダイオードの静特性を測定し、その働きを調べる。 ⑨トランジスタの静特性を理解させる。 ⑩npn トランジスタ2SC1815のエミッタ接地における出力特性をしらべ、トランジスタの取り扱いに習熟させる。	【知識・技能】 実習で学習したことを理解できているか。また、その知識を作業の中に取り入れながら実施できているか。 【思考・判断・表現】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来ているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮して作業に集中できているか。 加工の状態を把握できているか。 期限までにレポート提出が出来ているか。	○	○	○	60
3 学期	【知識及び技能】 実習で学習したことを理解しその知識を作業の中に取り入れながら実施できるか。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来るか。 【学びに向かう力、人間性等】 班員と協力して実習に取り組む。期限までにレポート提出が出来るか。	⑤オームの法則の実験を理解させる。 ⑥電圧電流I抵抗Rに関する『オームの法則』を確認する。 ⑦ダイオードの静特性測定を理解させる。 ⑧各種ダイオードの静特性を測定し、その働きを調べる。 ⑨トランジスタの静特性を理解させる。 ⑩npn トランジスタ2SC1815のエミッタ接地における出力特性をしらべ、トランジスタの取り扱いに習熟させる。	【知識・技能】 実習で学習したことを理解できているか。また、その知識を作業の中に取り入れながら実施できているか。 【思考・判断・表現】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来ているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮して作業に集中できているか。 加工の状態を把握できているか。 期限までにレポート提出が出来ているか。	○	○	○	16
							合計
							140

令和7年度（3 学年用） 教科 工 業 科目 機械設計

教科： 工 業 科目： 機械設計

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 2 組～ 組

教科担当者： （2 組： 大場 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 実教出版 機械設計 ）

教科 工 業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的か

科目 機械設計 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「機械」を設計するための基礎となる力学・材料力学・機構学の基礎的な事項を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	簡単な設計・計算の方法を学習し、安全で安心な器具、機械などを創造的、合理的に設計する能力と協動的に取り組む態度を養う。	実践的・体験的な学習活動を通して、機械設計に関する課題の発見と解決や工業技術の進展に対応する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(1)単元：仕事と動力 【知識・技能】 仕事の定義、道具や機械の仕事の原理、仕事のもとになるエネルギー、仕事の時間に対する割合である動力について理解する。 【思考・判断・表現】 エネルギーと仕事、動力の表しかた・計算法を理解し、それらの関係を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 てこ・輪軸・滑車・斜面の具体例を踏まえて、仕事の原理を理解する。	・指導事項 エネルギーと仕事・動力を関連付けて扱う。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 運動の法則や運動量に関する基礎知識を理解し、運動する物体と力の関係を計算で示す能力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 運動と力の関係を運動の法則を使って探究し、計算過程を説明する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の種類や法則に関心をもち、物理との関連に留意しながら運動の三法則を理解しようとしている。	○	○	○	3
	(2)単元：摩擦と機械の効率 【知識・技能】 摩擦の性質や滑り摩擦と転がり摩擦を理解し、摩擦の計算法を身に付けている。 機械の効率の概念と現状を理解する。 【思考・判断・表現】 摩擦が機械に及ぼす影響について探求し、機械の効率が摩擦に左右されることを表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦と機械の効率の関係に関心をもち、摩擦を小さくする工夫や摩擦の利用について探究し、理解する。	・指導事項 摩擦の性質や滑り摩擦と転がり摩擦に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 摩擦の性質や滑り摩擦と転がり摩擦を理解し、摩擦の計算法を身に付けている。機械の効率の概念と現状を理解している。 【思考・判断・表現】 摩擦が機械に及ぼす影響について探求し、機械の効率が摩擦に左右されることを表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦と機械の効率の関係に関心をもち、摩擦を小さくする工夫や摩擦の利用について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	(3)単元材料に加わる荷重 【知識・技能】 材料に加わる荷重を正しく分類することができ、関連する用語を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 荷重を作用のしかたや加わる速さによって分類する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 材料に加わる荷重の種類を知り、身近な実例とその現象を探究しようとする態度を身に付けている。	・指導事項 荷重を作用のしかたや加わる速さに留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 材料に加わる荷重を正しく分類することができ、関連する用語を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 荷重を作用のしかたや加わる速さによって分類する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 材料に加わる荷重の種類を知り、身近な実例とその現象を探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	1
	(4)単元：引張・圧縮荷重 【知識・技能】 応力を適切な単位で表現でき、応力、ひずみ、縦弾性係数の関係、応力-ひずみ線図を理解する。 【思考・判断・表現】 応力-ひずみ線図、荷重-変形線図、弾性限度・比例限度・降伏点・耐力・引張強さなどの説明ができ、応力とひずみの関係を計算により表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 荷重と応力の違い、変形量とひずみの違いを理解し、応力とひずみの関係を知ろうとする意欲があり、縦弾性係数を理解する。	・指導事項 応力、ひずみ、縦弾性係数の関係に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 応力を適切な単位で表現でき、応力、ひずみ、縦弾性係数の関係、応力-ひずみ線図を理解している。 【思考・判断・表現】 応力-ひずみ線図、荷重-変形線図、弾性限度・比例限度・降伏点・耐力・引張強さなどの説明ができ、応力とひずみの関係を計算により表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 荷重と応力の違い、変形量とひずみの違いを理解し、応力とひずみの関係を知ろうとする意欲があり、縦弾性係数を理解しようとしている。	○	○	○	4
	(5)単元：せん断荷重 【知識・技能】 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の関係を理解し、横弾性係数と縦弾性係数の違いを理解する。 【思考・判断・表現】 横弾性係数をせん断応力とせん断ひずみを使って説明する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 せん断荷重の特質を考察し、せん断応力とせん断ひずみ、横弾性係数について理解する。	・指導事項 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の関係に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の関係を理解し、横弾性係数と縦弾性係数の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 横弾性係数をせん断応力とせん断ひずみを使って説明する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 せん断荷重の特質を考察し、せん断応力とせん断ひずみ、横弾性係数について理解しようとしている。	○	○	○	2

799	(6)単元：温度変化による影響 【知識・技能】 熱応力と縦弾性係数・線膨張係数・温度差の関係を理解し、熱応力が材料の長さや太さには無関係であることなどを理解している。材料の熱による伸び・縮みを計算し、熱応力を求められるようになる。 【思考・判断・表現】 熱応力の原理を理解し、線膨張係数と関連付けて熱応力を考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱応力に関心をもち、熱応力の発生するしくみを理解する。	・指導事項 熱応力の原理に留意し、線膨張係数と関連付けて熱応力を考えられるように指導する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(10)単元：温度変化による影響 【知識・技能】 熱応力と縦弾性係数・線膨張係数・温度差の関係を理解し、熱応力が材料の長さや太さには無関係であることなどを理解している。材料の熱による伸び・縮みを計算し、熱応力を求めることができる。 【思考・判断・表現】 熱応力の原理を理解し、線膨張係数と関連付けて熱応力を考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱応力に関心をもち、熱応力の発生するしくみを考察しようとしている。	○	○	○	1
	(7)単元：材料の破壊 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができるようになる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係から部材の寸法を求める力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解する。	・指導事項 材料の破壊について基礎的な内容に留意し、材料の機械的性質と関連を持たせる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(11)単元：材料の破壊 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係から部材の寸法を求める力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
	(8)単元：はりの曲げ 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができるようになる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係から部材の寸法を求める力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解することができる。	・指導事項 材料の破壊について基礎的な内容に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(12)単元：はりの曲げ 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係から部材の寸法を求める力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	4
	(9)単元ねじり 【知識・技能】 断面二次極モーメントと極断面係数の概念を理解し、ねじりを受ける軸のせん断応力やねじり応力、ねじれ角の計算ができるようになる。 【思考・判断・表現】 ねじりがせん断作用であることを理解し、曲げの場合と同様に考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸が回転動力を伝達するとき、どんな力が働くかを推測したり、軸に生じる応力や変形について探究し、理解する。	・指導事項 断面二次極モーメントと極断面係数の概念に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 断面二次極モーメントと極断面係数の概念を理解し、ねじりを受ける軸のせん断応力やねじり応力、ねじれ角の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ねじりがせん断作用であることを理解し、曲げの場合と同様に考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸が回転動力を伝達するとき、どんな力が働くかを推測したり、軸に生じる応力や変形について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	1
	(10)単元：せん断荷重 【知識・技能】 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の関係を理解し、横弾性係数と縦弾性係数の違いを理解する。 【思考・判断・表現】 横弾性係数をせん断応力とせん断ひずみを使って説明する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 せん断荷重の特質を考察し、せん断応力とせん断ひずみ、横弾性係数について理解する。 定期考査	・指導事項 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の関係に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 せん断応力、せん断ひずみ、横弾性係数の関係を理解し、横弾性係数と縦弾性係数の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 横弾性係数をせん断応力とせん断ひずみを使って説明する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 せん断荷重の特質を考察し、せん断応力とせん断ひずみ、横弾性係数について理解しようとしている。	○	○	○	1
				○	○		1
	(11)単元：温度変化による影響 【知識・技能】 熱応力と縦弾性係数・線膨張係数・温度差の関係を理解し、熱応力が材料の長さや太さには無関係であることなどを理解している。材料の熱による伸び・縮みを計算し、熱応力を求められるようになる。 【思考・判断・表現】 熱応力の原理を理解し、線膨張係数と関連付けて熱応力を考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱応力に関心をもち、熱応力の発生するしくみを理解する。	・指導事項 熱応力の原理に留意し、線膨張係数と関連付けて熱応力を考えられるように指導する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(10)単元：温度変化による影響 【知識・技能】 熱応力と縦弾性係数・線膨張係数・温度差の関係を理解し、熱応力が材料の長さや太さには無関係であることなどを理解している。材料の熱による伸び・縮みを計算し、熱応力を求めることができる。 【思考・判断・表現】 熱応力の原理を理解し、線膨張係数と関連付けて熱応力を考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱応力に関心をもち、熱応力の発生するしくみを考察しようとしている。	○	○	○	1
	(12)単元：材料の破壊 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができるようになる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係から部材の寸法を求める力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解する。	・指導事項 材料の破壊について基礎的な内容に留意し、材料の機械的性質と関連を持たせる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(11)単元：材料の破壊 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係から部材の寸法を求める力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械や構造物を構成する部材の変形や破壊に関心をもち、破壊の原因や対策について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2

2 学 期	(13)単元：はりの曲げ 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができるようになる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係を考える。	・指導事項 材料の破壊について基礎的な内容に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(12)単元：はりの曲げ 【知識・技能】 材料の破壊について基礎的な内容を理解し、材料の機械的性質と関連させて、許容応力や安全率を計算することができる。 【思考・判断・表現】 破壊の原因を理解し、破壊が発生しない方策を考え、許容応力と安全率の関係から部材の寸法を求める力を身に付けている。	○	○	○	4
	(14)単元：ねじり 【知識・技能】 断面二次極モーメントと極断面係数の概念を理解し、ねじりを受ける軸のせん断応力やねじり応力、ねじれ角の計算ができるようになる。 【思考・判断・表現】 ねじりがせん断作用であることを理解し、曲げの場合と同様に考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸が回転動力を伝達するとき、どんな力が働くかを推測したり、軸に生じる応力や変形について探究し、理解する。	・指導事項 断面二次極モーメントと極断面係数の概念に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 断面二次極モーメントと極断面係数の概念を理解し、ねじりを受ける軸のせん断応力やねじり応力、ねじれ角の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ねじりがせん断作用であることを理解し、曲げの場合と同様に考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸が回転動力を伝達するとき、どんな力が働くかを推測したり、軸に生じる応力や変形について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	1
	(15)単元：座屈 【知識・技能】 柱に発生する座屈の原因を理解し、オイラーの式、ランキンの式による長柱の設計の概要を身に付ける。 【思考・判断・表現】 細長い部材（柱）に圧縮力が加わるとき曲折して破壊する現象や原因を理解し、座屈を防ぐ柱の形状を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 柱に発生する座屈に関心を持ち、原因や対策について探究する。	・指導事項 柱に発生する座屈の原因に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(14)単元：座屈 【知識・技能】 柱に発生する座屈の原因を理解し、オイラーの式、ランキンの式による長柱の設計の概要を身に付けている。 【思考・判断・表現】 細長い部材（柱）に圧縮力が加わるとき曲折して破壊する現象や原因を理解し、座屈を防ぐ柱の形状を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 柱に発生する座屈に関心を持ち、原因や対策について探究しようとしている。	○	○	○	1
	(16)単元：安全・安心と設計 【知識・技能】 信頼性や安全性を高めるため、の知識や設計法を理解し、それを活用できる基礎的な力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 安全な製品の製造をするために考察し、身近な具体例を示して信頼性や安全性を高める方法について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械の安全に関心を持ち、安全で安心な製品を設計する知識や設計法を理解し、探究しようとしている。また、利用者に配慮した設計の必要性を理解し、その方法を探究する。	・指導事項 高い信頼性・信頼度が重要であることに着目させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(15)単元：安全・安心と設計 【知識・技能】 信頼性や安全性を高めるため、広い視野に立った幅広い知識や設計法を理解し、それを製品設計に活用できる基礎的な力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 安全で安心な製品を設計するために、高い信頼性・信頼度が重要であることを考えている。身近な具体例を示して、信頼性や安全性を高める方法について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械の安全に関心を持ち、安全で安心な製品を設計する知識や設計法を理解し、探究しようとしている。また、利用者に配慮した設計の必要性を理解し、その方法を探究しようとしている。	○	○	○	2
	(17)単元：倫理観を踏まえた設計 【知識・技能】 設計にたずさわる技術者には、高度な倫理観とすぐれた知識や技術が求められていることに留意する。 【思考・判断・表現】 製品が社会に及ぼす影響について、実際に起きている事例を通して技術者倫理の視点から考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術者が良心に基づいて設計・製作することが技術者倫理であることを理解する。	・指導事項 高度な倫理観とすぐれた知識や技術が求められていることに留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(16)単元：倫理観を踏まえた設計 【知識・技能】 設計にたずさわる技術者には、高度な倫理観とすぐれた知識や技術が求められていることを理解して、その考えかたを身に付けている。 【思考・判断・表現】 製品が社会に及ぼす影響について、実際に起きている事例を通して技術者倫理の視点から考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術者が良心に基づいて設計・製作することが技術者倫理であることを理解しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	(18)単元：環境に配慮した設計 【知識・技能】 実際の製品の中に活かされている環境負荷への配慮やライフサイクル設計の考え方を理解する。 【思考・判断・表現】 製品全体のライフサイクルを視野に入れ、循環型社会、エネルギーの有効利用、環境の保全を理解し、廃棄物を少なくする設計について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 資源やエネルギーの有限性を正しく理解し、環境への負荷を最小にする設計上の知識や方法を探究し、理解する。	・指導事項 循環型社会、エネルギーの有効利用、環境の保全に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(17)単元：環境に配慮した設計 【知識・技能】 実際の製品の中に活かされている環境負荷への配慮やライフサイクル設計の考えかたを理解している。 【思考・判断・表現】 製品全体のライフサイクルを視野に入れ、循環型社会、エネルギーの有効利用、環境の保全を理解し、廃棄物を少なくする設計について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 資源やエネルギーの有限性を正しく理解し、環境への負荷を最小にする設計上の知識や方法を探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
	(19)単元：ねじの用途と種類 【知識・技能】 ねじの基本・種類・用途を理解し、リード、リード角、ピッチ、ねじの条数の関係を理解する。 【思考・判断・表現】 ねじの山の特徴を理解し、用途に応じてどのようなねじを使用したらよいかを判断し、規格からねじを選択する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ねじに関心を持ち、ねじの構造や種類・用途について探究し、理解する。	・指導事項 ねじの基本・種類・用途に留意し、リード、リード角、ピッチ、ねじの条数の関係に着目させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(18)単元：ねじの用途と種類 【知識・技能】 ねじの基本・種類・用途を理解し、リード、リード角、ピッチ、ねじの条数の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ねじの山の特徴を理解し、用途に応じてどのようなねじを使用したらよいかを判断し、規格からねじを選択する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ねじに関心を持ち、ねじの構造や種類・用途について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	4

3 学 期	(20) 単元：ねじに働く力と強さ 【知識・技能】 ねじの原理を理解し、ねじに働く力からボルトの大きさの算出、適切なねじの選択ができ、実際に使用するときの留意点を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ねじの使用状況を判断して、ボルトの大きさを決めることができ、はめあい長さや緩み止めについて考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ねじが受ける荷重や、ねじりを受けるねじの強さに関心を持ち、荷重に耐えるボルトの太さについて理解しようとしている。	・指導事項 実際に使用すること関連させ、ねじの原理を理解させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(19) 単元：ねじに働く力と強さ 【知識・技能】 ねじの原理を理解し、ねじに働く力からボルトの大きさの算出、適切なねじの選択ができ、実際に使用するときの留意点を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ねじの使用状況を判断して、ボルトの大きさを決めることができ、はめあい長さや緩み止めについて考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ねじが受ける荷重や、ねじりを受けるねじの強さに関心を持ち、荷重に耐えるボルトの太さについて理解しようとしている。	○	○	○	2
	(21) 単元：軸 【知識・技能】 軸に作用する動力、ねじり、曲げを考察し、適切な方法で軸の直径を求め、規格から軸を選択できる知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 軸設計上の留意事項を踏まえ、軸が受ける荷重や断面形状を考慮して軸径の求めかたを考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸の種類と特徴を認識し、軸に働く力、軸の変形、強度・剛性などを理解する。	・指導事項 軸に作用する動力、ねじり、曲げに留意し、軸に働く力、軸の変形、強度・剛性に着目させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(20) 単元：軸 【知識・技能】 軸に作用する動力、ねじり、曲げを考察し、適切な方法で軸の直径を求め、規格から軸を選択できる知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 軸設計上の留意事項を踏まえ、軸が受ける荷重や断面形状を考慮して軸径の求めかたを考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸の種類と特徴を認識し、軸に働く力、軸の変形、強度・剛性などを理解しようとしている。	○	○	○	8
	(22) キー・スプライン 【知識・技能】 キーやスプラインの種類と用途を理解し、軸の径に応じたキーの寸法をJIS規格から選定することができるようになる。 【思考・判断・表現】 キーに加わる荷重の計算をもとに規格から選択することができる。スプラインなどの使用方法や用途を考える力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 第3章のせん断荷重との関わりを認識し、軸に対応するキーなどの選定に関心を持ち自分の言葉で表現する。	・指導事項 キーやスプラインの種類と用途に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	キー・スプライン 【知識・技能】 キーやスプラインの種類と用途を理解し、軸の径に応じたキーの寸法をJIS規格から選定することができる。 【思考・判断・表現】 キーに加わる荷重の計算をもとに規格から選択することができる。スプラインなどの使用方法や用途を考える力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 第3章のせん断荷重との関わりを認識し、軸に対応するキーなどの選定に関心をもとうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	(23) 軸継手 【知識・技能】 軸継手の役目・種類・特徴を理解し、フランジ形たわみ軸継手の寸法を計算で求め、規格から選択できるようになる。 【思考・判断・表現】 軸継手の必要性和軸を一直線に保つためのくふうを考察できる。軸継手の用途と伝達する力を考え、大きさを規格から選択する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸継手やクラッチに関心を持ち、その役目や種類・特徴を探究し、理解する。	・指導事項 軸継手の役目・種類・特徴に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(22) 軸継手 【知識・技能】 軸継手の役目・種類・特徴を理解し、フランジ形たわみ軸継手の寸法を計算で求め、規格から選択できる。 【思考・判断・表現】 軸継手の必要性和軸を一直線に保つためのくふうを考察できる。軸継手の用途と伝達する力を考え、大きさを規格から選択する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸継手やクラッチに関心を持ち、その役目や種類・特徴を探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
	(24) 単元：軸受の種類 【知識・技能】 軸受の特徴を理解し、分類することができるようになる。 【思考・判断・表現】 用途を考えてどのような軸受を使用したらよいかを判断する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸受に関心を持ち、その分類・特徴について探究し、理解する。	・指導事項 軸受の特徴に留意し、使用用途に着目させる。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(23) 単元：軸受の種類 【知識・技能】 軸受の特徴を理解し、分類することができる。 【思考・判断・表現】 用途を考えてどのような軸受を使用したらよいかを判断する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 軸受に関心を持ち、その分類・特徴について探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
	(25) 単元：滑り軸受 【知識・技能】 滑り軸受の役目・種類・構造・特徴を理解し、軸受の大きさを選択する方法や適切な材質を選ぶための知識を身に付け、ラジアル軸受のジャーナルを計算で求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 滑り軸受の種類・構造・特徴や設計法について考察する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 滑り軸受に関心を持ち、その役目・種類・構造・特徴や重要性を認識し、設計のしかたについて探究し、理解する。	・指導事項 滑り軸受の役目・種類・構造・特徴に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(24) 単元：滑り軸受 【知識・技能】 滑り軸受の役目・種類・構造・特徴を理解し、軸受の大きさを選択する方法や適切な材質を選ぶための知識を身に付け、ラジアル軸受のジャーナルを計算で求めることができる。 【思考・判断・表現】 滑り軸受の種類・構造・特徴や設計法について考察する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 滑り軸受に関心を持ち、その役目・種類・構造・特徴や重要性を認識し、設計のしかたについて探究し、理解しようとしている。	○	○	○	2
	(26) 単元：転がり軸受 【知識・技能】 転がり軸受の役目・種類・構造・特徴や設計法を理解し、使用条件に基づいて転がり軸受を計算で求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 転がり軸受の種類・構造・特徴や設計法について考察でき、規格から選択する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 転がり軸受に関心を持ち、その役目・種類・構造・特徴や重要性を認識し、設計のしかたについて探究し、理解する。	・指導事項 転がり軸受の役目・種類・構造・特徴に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(25) 単元：転がり軸受 【知識・技能】 転がり軸受の役目・種類・構造・特徴や設計法を理解し、使用条件に基づいて転がり軸受を計算で求めることができる。 【思考・判断・表現】 転がり軸受の種類・構造・特徴や設計法について考察でき、規格から選択する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 転がり軸受に関心を持ち、その役目・種類・構造・特徴や重要性を認識し、設計のしかたについて探究し、理解しようとしている。	○	○	○	3

(27) 単元：潤滑 【知識・技能】 潤滑のしくみ、潤滑方法、油穴や油溝について理解し、潤滑剤を特質に応じて使い分けができる知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 潤滑の目的によってどのような潤滑法・潤滑剤がよいかを考察する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 潤滑の重要性を認識し、いろいろな潤滑法を理解する。	・指導事項 潤滑のしくみ、潤滑方法、油穴や油溝に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(26) 単元：潤滑 【知識・技能】 潤滑のしくみ、潤滑方法、油穴や油溝について理解し、潤滑剤を特質に応じて使い分けができる知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 潤滑の目的によってどのような潤滑法・潤滑剤がよいかを考察する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 潤滑の重要性を認識し、いろいろな潤滑法を理解しようとしている。	○	○	○	2
(28) 単元：密封装置 【知識・技能】 密封装置の役目・種類・構造・特徴や、密封装置の必要性を理解する。 【思考・判断・表現】 軸と軸受の状況や密封の目的を判断して、適切な種類・構造の密封装置を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 密封装置の種類と特徴、重要性を認識し、理解する。	・指導事項 密封装置の役目・種類・構造・特徴に留意する。 ・教材 関数電卓 ・一人1台端末の活用 等	(27) 単元：密封装置 【知識・技能】 密封装置の役目・種類・構造・特徴や、密封装置の必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 軸と軸受の状況や密封の目的を判断して、適切な種類・構造の密封装置を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 密封装置の種類と特徴、重要性を認識し、理解しようとしている。	○	○	○	1
定期考査			○	○		1
						合計
						70

令和7年度（3学年用）教科 工業 科目 生産技術

教科：工業 科目：生産技術 単位数：3 単位
対象学年組：第3学年 2組
教科担当者：（鈴木）
使用教科書：実教出版：工業755生産技術（）
教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指し、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 生産技術 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	生産技術について自動化やネットワーク化を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	生産技術に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	人と機械が協調して生産性を改善する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	●半導体の抵抗率による区分、キャリアの考え 方について理解させる。 ●順電圧・逆電圧によるキャリアの動き方とダイ オードの原理を理解させる。	第4章 電子回路 1. 半導体 2. ダイオード	【知識・技能】 ・キャリア、n形半導体、p形半導体、ダイオード、トランジ スタに関する知識が身についている。 【思考・判断・表現】 ・導体と半導体の抵抗率は温度によって異なる変化を示すこ とを、キャリアのふるまいによって考察し、的確な表現力を 身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・半導体の特性と種類、ダイオードの原理と種類、などに関 心をもち、学習に意欲的に取り組む。	○	○	○	11
	●トランジスタの原理を理解させ、電流 増幅率が計算できるようにする。 ●固定バイアス回路、電流帰還増幅回路 の働きについて理解させる。 ●トランジスタの種類、各種半導体素子 などについて理解させる。	3. トランジスタ	【知識・技能】 ・トランジスタの直流電流増幅率、小信号電流増幅率、増幅 器の電圧増幅度、電流増幅度などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 ・トランジスタの出力特性はあるコレクタ電圧以上になると 飽和することを、キャリアのふるまいから考察し、的確な表 現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・半導体の特性と種類、ダイオードの原理と種類、トランジ スタの動作と増幅作用などに関心をもち、オペアンプ等の学 習に意欲的に取り組む。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	●変圧回路・整流回路・平滑回路・電圧 安定化回路の働きを理解させる。 ●ICの種類、オペアンプの基本動作を理 解させ、反転増幅回路・非反転増幅回路 の電圧増幅度が計算できるようにする。 ●基本的な論理回路を基に、NAND回路を 用いて他の回路を作成することを理解さ せる。	4. 電源回路 5. 集積回路	【知識・技能】 ・電源回路の構成および各要素の機能について理解できる。 ・試してみよう「三端子レギュレータの入出力特性を調べよ う」を参考にして、実験回路を組み、入出力の特性を求める 技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ・オペアンプの反転増幅回路の電圧増幅度について、位相が 反転することを考察し、的確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・また、電源回路および集積回路に関心をもち、意欲的に学 習に取り組み、学習態度は真剣である。	○	○	○	11
	●生産システムに使われている自動 制御の分類およびそれぞれの機能に ついて理解させる。 ●センサの種類、原理、応用例につ いて理解させる。 ●アクチュエータの種類・原理・特 徴・用途について理解させる。	第5章 生産における制御技術 1. 制御の基礎	【知識・技能】 ・自動制御の分類とセンサ、アクチュエータについて、理解 できる。 【思考・判断・表現】 ・シーケンス制御の定義について、例をあげて考察し、的確 な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・シーケンス制御、フィードバック制御およびコンピュータ 制御に関心をもち、それらの制御の概念や基本的事項の学習 に意欲的に取り組み、学習態度は真剣である。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	●コンピュータの基本構成と5装置の機 能、電気信号の種類について理解させ る。 ●インタフェースとは何か、その概念、 信号の変換、タイミングなどについて理 解させる。 ●コンピュータ制御とは何か、インタ フェースとセンサ・アクチュエータなど の接続法について理解させる。 ●マイクロコンピュータによる制御につ いて理解させる。	2. コンピュータ制御	【知識・技能】 ・コンピュータは、信号電圧の高低で動作し、1、0のディジ タル信号を入力信号・出力信号とすることについて理解でき る。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータ制御の定義について、例をあげて考察し、的 確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータの基本的構成と働き、インタフェースの役割 と使い方、センサやアクチュエータなどに関心をもち、意識 的に学習に取り組む。	○	○	○	11
	●企業内ネットワークであるLAN・WANに ついて理解させる。 ●工場内のネットワークについて、生産 システムをまじえて理解させる。	3. ネットワーク技術	【知識・技能】 ・事務用LANと制御用LANの違いを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・事務用LANと制御用LANの違いについて、例をあげて考察 し、的確な表現力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・LAN・WANなどのネットワークやデータ転送規格等の学習に 真剣に取り組む。	○	○	○	11

2 学 期	定期考査			○	○		1
	●ロボットの変遷・分類、産業用ロボットの構成・機能について理解させる。 ●ロボットの機構と運動、について解説する。	第6章 ロボット技術 1. ロボットの基礎	【知識・技能】 ・ロボットの用途による分類をとおして、産業用ロボットに関する用途を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・溶接・塗装・組立てなどを自動的に行う産業用ロボットについて調査し、実際の仕事を適切に処理する能力が身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業用ロボットに興味、関心をもち、ロボット制御のシステムやそれを支える技術や制御を探究できる。	○	○	○	11
	●センサ・アクチュエータ・制御技術やロボット言語、材料、制御系を理解させる。 ●サーボ機構について理解させる。	2. ロボットの制御システム	【知識・技能】 ・ロボットの用途による分類をとおして、産業用ロボットに関する用途を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・溶接・塗装・組立てなどを自動的に行う産業用ロボットについて調査し、実際の仕事を適切に処理する能力が身に付けている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	●ロボット作動中の危害から作業者を保護したり、ロボットに誤作動をさせないための安全管理について理解させる。	3. ロボットの操作と安全管理	【知識・技能】 ・ロボットの教示、安全対策について、法令を含め理解できる。 【知識・技能】 ・ロボットの用途による分類をとおして、産業用ロボットに関する用途を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・ロボットを制御するシステムには、どのような技術が生かされているか。また、ロボットを操作する上での留意点や安全について探究できる。	○	○	○	6
	●CAD/CAM・CAE・CATなどの技術について理解させる。 ●NC工作機械の変遷、しくみ、に関する用語について理解させる。 ●NC工作機械のプログラミングについて解説する。 ●生産の自動化と生産管理の手法、生産の形態について理解させる。 ●生産の自動化システム技術と国際化への対応について理解させる。	第7章 生産の自動化技術 1. CAD/CAM 2. NC工作機械 3. 生産の自動化システムの構成	【知識・技能】 ・CAD/CAM、CAE、CATシステムを理解し、製品工程との関連知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 ・自動工具交換装置および自動パレット交換装置の動作原理を図によって考察し、説明できる能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・CAD/CAM、各種NC工作機械などに関心をもち、それらの技術がF Aに生かされている理由を探究できる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（3学年用）教科 工業 科目 ものづくり基礎

单位数： 2 单位

教科 工業

課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき判断し表現する力を身に付け、工業技

現象に関心を
の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション 【知識及び技能】 ・ものづくり加工の基礎を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業進行の過程を構成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に関わり組む。	・指導事項 「ものづくり基礎」の授業について理解させる。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 調べ学習、副教材の提示	【知識・技能】 ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・年間を通した流れを把握しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に取り組むかどうか。	○	○	○	22
	単元：報告書作成の基本 【知識及び技能】 報告書の意義や重要性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 報告書を期限内にきれいに仕上げる方法を思考判断し、報告書で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 報告書の記入方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 報告書の正しい作成手順を身に付けさせる。 ・教材 関数電卓、授業指導書、各授業項目に必要なもの	【知識及び技能】 報告書の意義や重要性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 報告書を期限内にきれいに仕上げる方法を思考判断し、報告書で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 報告書の記入方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	
	単元：単位の基本（数値処理（SI 単位系）） 【知識及び技能】 国際単位系と組立単位及び接頭語について理解するとともに、実際に活用して合理的に単位換算などの数値処理を行う技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 国際単位系と組立単位及び接頭語について、自ら思考を深め判断して単位換算などの数値処理を行い、その結果を検証し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際単位系と組立単位及び接頭語について自ら学び、単位換算などの数値処理を主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 国際単位系と組立単位及び接頭語について理解し、実際に活用して単位換算ができ、主体的かつ協働的に数値処理する力を身に付けさせる。 ・教材 教科書 ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際単位系と組立単位及び接頭語について理解し、実際に活用して合理的に単位換算などの数値処理を行う技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 国際単位系と組立単位及び接頭語について、自ら思考を深め判断して単位換算などの数値処理を行い、その結果を検証し改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際単位系と組立単位及び接頭語について自ら学び、単位換算などの数値処理を主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査	・指導事項 各種測定する機器や器具の正しい使用方法を理解させる。 ・教材 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 一般に使われている測定器の使いかたと使用上の留意点についての正しい知識を持ち、正しい寸法測定法を身につけている。 【思考・判断・表現】 一般に使われている測定器の使いかたと使用上の留意点について、適切に思考・判断し、正しい寸法測定法について実践し、その手法を相手に伝える表現法を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 一般に使われている測定器の使いかたと使用上の留意点について、主体的に興味・関心を持ち、正しい寸法測定法の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	
2 学期	単元：品質管理の基本（意義と目的） 【知識・技能】 品質管理の手法、品質検査、品質保証などを理解させる。 【思考・判断・表現】 品質検査の意義や目的について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が使っている製品の品質管理の手法等について学ぶことで品質管理の意義や目的について関心をもっている。	・指導事項 品質管理を最も経済的で、最も有用で、消費者が求める品質の製品を開発し、設計し、生産し、サービスすることを基本として指導する。 ・教材 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 工場で品質をつくり込む重要性や企業の品質に対する基本的な考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 性能と品質が調和されないよう明示でき、品質は検査によって確保されるものではなく、工場でつくられるものであることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業で行われている品質管理活動に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	28
	定期考査	・指導事項 引張強さや硬さ、靱性、疲労などの機械的性質およびその測定方法についてまとめ、わかりやすく説明することができるようにする。 ・教材 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ものづくりの中でさまざまな機械材料が使われていることに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 軟鋼の応力-ひずみ線図を解釈することができ、弾性限度や降伏点、引張強さを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 引張強さなど機械的性質に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	
	単元：製図の基本（第三角法、投影図、等角図） 【知識・技能】 第三角法、等角図、寸法記入についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身につく。 【思考・判断・表現】 図面を第三角法、投影図、等角図で正しく作図し、表現できる。また、寸法記入をかけるように思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための投影図について理解し関心をもち、意欲的に作図に取り組んでいる。	・指導事項 物体の形状を、平面上に正しく示すための投影図について理解し関心を持たせ、意欲的に作図に取り組ませる。 ・教材 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 第三角法、投影図、等角図についての知識を学び理解し、みずから作図できる技能が身につく。 【思考・判断・表現】 図面を第三角法、投影図、等角図で正しく作図し、表現でき、思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の形状を、平面上に正しく示すための投影図について理解し関心を持ち、意欲的に作図に取り組んでいる。	○	○	○	
	単元：機械加工（旋盤作業） 【知識及び技能】 基礎的な機械工作に関する実習として、旋盤作業を体験させる。 安全に配慮しながらその技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 旋盤加工の原理や切込みと送り量の関係を踏まえ、安全に仕上げる方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 旋盤の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 旋盤の正しい使用方法と加工手順を理解させる。 ・教材 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用 等 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 旋盤作業の基本操作について正しい知識を身につけ、安全に旋盤作業ができる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 旋盤作業の基本操作について、適切に思考・判断し、安全な旋盤作業法について説明できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 旋盤の基本操作について、主体的に興味・関心を持ち、旋盤作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	
3 学期	単元：機械加工（フライス盤作業） 【知識・技能】 フライス盤作業の基本操作について興味・関心を持ち、その加工作業に必要な知識と技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 フライス盤作業の基本操作について、適切に思考・判断し、加工法について的確に表現できる技能を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 フライス盤の取り扱いと使用方法に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	指導事項 フライス盤の正しい使用方法と加工手順を理解させる。 ・教材 自作プリント ・机間指導・一人1台端末の活用 等 関数電卓、実習指導書、各実習で必要なもの	【知識・技能】 フライス盤作業の基本操作について正しい知識を身につけ、安全に切削作業ができる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 フライス盤作業の基本操作について、適切に思考・判断し、安全な切削作業法について説明できる力量を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 フライス盤の基本操作について、主体的に興味・関心を持ち、切削加工作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	20
	合計	70					

令和7年度（3学年用） 教科 工業 科目 選択原動機

教科：工業 科目：選択原動機

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択A

教科担当者：（選択A：川口）

使用教科書：（実教出版：工業763原動機）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 選択原動機 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
原動機の基礎的な知識や技術の理解はもとより、社会のいろいろな場面での問題解決を試みることができるようにそれらを相互に関連させて理解している。また、原動機にかかわる知識や技術をいろいろな場面で活用できる。	原動機にかかわるさまざまな事象やそれぞれの問題点を把握して分析し、それらに対処するために、これまでに習得した知識や技術などを活用することができる。また、解決する考え方やその方策を論理的かつ創造的に表現することができる。	原動機にかかわる基礎的な知識や技術への関心と、その習得に意欲があり、主体的に学習することができる。また、既存の知識・技術と新たに学習した事柄をまとめて、合理的な生産方法を考え、実際に活用しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	●人間の進歩にともなうエネルギーの利用と原動機の発展の過程を系統的に把握させ、いろいろなエネルギーと原動機の関係や特徴を理解させる。 ●現在利用されているおもなエネルギーと、それらを動力に変換するうえでのさまざまな問題点、その対応、原動機の発達の方などについて把握させる。 ●エネルギーの需要と供給の関係を把握させ、省エネルギーの重要性や新しいエネルギーの利用と将来のあり方などについて考えさせる。 ●内燃機関の種類と分類を概観させ、その適切な利用法を把握させる。 ●熱機関のサイクルと熱効率を理解させて、熱機関を有効に活用できるようにするために、熱に関するいろいろな現象を定性的に把握させ、さらに変化にともなういろいろな量を定量的に扱えるように理解させる。 ●レシプロエンジンの作動原理と、それが理論熱効率に及ぼす影響を理解させる。	第1章 エネルギーの利用と変換 1節 エネルギー利用の歴史 2節 こんにちのエネルギーと動力 3節 エネルギーの現状と将来	【知識・技能】エネルギーの利用と変換にかかわる歴史・課題・展望を理解し、どのように行われてこんにちにしているかを把握し、そこで得た知識を社会生活の中で活用することができる。 【思考・判断・表現】 ●エネルギーの利用と変換がどのように行われてこんにちにしているかを把握し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●エネルギーの利用と変換がどのように行われてこんにちにしているかを把握し、探求しようとしている。	○	○	○	6
	●内燃機関の種類と分類を概観させ、その適切な利用法を把握させる。 ●熱機関のサイクルと熱効率を理解させて、熱機関を有効に活用できるようにするために、熱に関するいろいろな現象を定性的に把握させ、さらに変化にともなういろいろな量を定量的に扱えるように理解させる。 ●レシプロエンジンの作動原理と、それが理論熱効率に及ぼす影響を理解させる。	第3章 内燃機関 1節 内燃機関のあらまし 2節 熱機関の基礎 3節 レシプロエンジンの作動原理と熱効率	【知識・技能】 ●概観した内燃機関の適切な活用方法や各エンジンのサイクルと熱効率などの関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ●概観した内燃機関の適切な活用例や気体の基本的な性質を把握し、状態変化と状態量、熱機関のサイクルと熱効率などを理解して、これらの活用方法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●各種のレシプロエンジンの作動原理を把握して、各エンジンのサイクルと熱効率などの関係を理解して、これらをいろいろな場面で活用しようとして探求している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	●作動中のレシプロエンジン各部の相互の作動と、それが性能に及ぼす影響について理解できるように、各部の構造と機能を把握させる。 ●レシプロエンジンの運転と性能や運転にともなうさまざまな損失などを把握させる。 ●ガスタービンの作動原理、構造、用途などを把握させ、さらに基本サイクルを理解させる。	第3章 内燃機関 4節 レシプロエンジンの構造 5節 レシプロエンジンの性能と運転 6節 ガスタービン	【知識・技能】●レシプロエンジンの構造と各部の機能を把握し、エンジン各部の動作と燃料・吸気・燃焼・排気などとの関係も理解して、これらのいろいろな場面での活用方法を把握している。 【思考・判断・表現】●各種のレシプロエンジンの作動原理を把握して、各エンジンのサイクルと熱効率などの関係を理解し、これらのいろいろな場面での活用方法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】●レシプロエンジンの構造と各部の機能を把握し、エンジン各部の動作と燃料・吸気・燃焼・排気などとの関係も理解して、これらをいろいろな場面で活用しようとして学習している。	○	○	○	7
	●自動車の誕生と発達を概観させたのち、社会が自動車に、また自動車が社会に及ぼした影響について把握させ、望ましい自動車のあり方を考えさせる。 ●自動車の基本的な構造・特性・および性能について理解させるとともに、望ましい次世代自動車などについても把握させる。	第4章 自動車 1節 自動車の発達と社会 2節 自動車の構造と性能	【知識・技能】●自動車が社会や環境へ及ぼす影響や、将来の自動車と交通のあり方について理解して、自動車の適切な活用方法を把握している。自動車の構造・特性・性能・安全などの基本的な事柄を理解し、自動車の適切な活用方法を把握している。また、次世代自動車の種類や特徴についても把握している。 【思考・判断・表現】●自動車が社会や環境へ及ぼす影響や、将来の自動車と交通のあり方について考察し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】●自動車の構造・特性・性能・安全などの基本的な事柄を把握して、自動車の適切な活用方法を理解し探求しようとしている。環境に対応した次世代自動車について利点や課題などについて探求しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	●いろいろな流体機械と、それらの利用例を把握させ、流体の性質や流体の力学など流体機械の基礎にかかわる事柄について、興味や関心を持たせる。 ●流体の基本的な性質を把握させたのち、流体にかかわる力学的な考えを理解させ、流体機械の適切な活用法を把握させる。	第2章 流体機械 1節 流体機械のあらまし 2節 流体機械の基礎	【知識・技能】●概観したいろいろな流体機械の適切な活用例を理解している。流体の基本的な性質を把握し、また流体の流れを力学的に捉えて理解し、これらをいろいろな場面で活用できるように理解している。 【思考・判断・表現】 ●流体の基本的な性質を把握し、また流体の流れを力学的に捉えて理解し、これらのいろいろな場面での活用方法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●流体の基本的な性質を把握し、また流体の流れを力学的に捉えて理解し、これらをいろいろな場面で活用しようとして学習している。	○	○	○	7
	●流体にかかわる力学的な考え方をもとにして、流体の圧力、流速、流量などの測定方法を理解させ、各流体に応じた計測法を把握させる。 ●用途に応じた適当なポンプを選定して運転し、また維持管理ができるように、ポンプの種類・構造・性能・特性・運転方法などを把握させる。	第2章 流体機械 3節 流体の計測 4節 ポンプ	【知識・技能】 圧力・流速・流量などの計測について、流体や流れの状態とその状態量の定量的な捉え方や活用する方法を理解している。 【思考・判断・表現】 圧力・流速・流量などの計測方法を把握して、流体や流れの状態とその状態量の定量的な捉え方や活用法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 圧力・流速・流量などを計測して、流体や流れの状態とその状態量を定量的に捉えようとしている。また、ポンプの原理・構造・特性・性能・運転などを把握して、使用目的に応じた適切なポンプを選択し、それを活用して探求しようとしている。	○	○	○	7

2 学 期	定期考査			○	○		1
	●用途に応じた適当な送風機・圧縮機を選定して運転し、維持管理ができるように、種類・構造・性能・特性・運転方法などを把握させる。 ●水車の原理、構造、種類を把握させ流体のエネルギーを有効に利用する方法を理解させる。 ●用途に応じた適当な油圧・空気圧機器や装置などを選択して構成して運転し、維持管理ができるように油圧・空気圧機器や装置などの構造・機能・特性・構成・運転方法などを把握させる。	第2章 流体機械 5節 送風機・圧縮機と真空ポンプ 6節 水車 7節 油圧装置と空気圧装置	【知識・技能】送風機・水車・圧縮機の原理・構造・特性・性能・運転などを把握して、使用目的に応じた適切な送風機・圧縮機を選択と活用する方法を理解している。 【思考・判断・表現】ポンプの原理や送風機・圧縮機の原理・構造・特性・性能・運転などを把握して、使用目的に応じた適切な送風機・圧縮機を選択と活用する方法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】送風機などの原理・構造・特性・性能・運転などを把握して、使用目的に応じた適切な送風機などを選択し、それを活用して探求しようとしている。	○	○	○	8
	●蒸気動力プラントの基本的な構成を把握させ、水蒸気やボイラ、タービン、蒸気動力プラントなどへの興味や関心を持たせる。 ●水蒸気の基本的な性質を把握させ、また、さまざまな状態の蒸気の状態量を蒸気表などで定量的に把握できるようにさせる。 ●いろいろなボイラの構成・構造・容量・性能の表し方などを把握させ、ボイラを扱うさいの留意事項や、性能などの向上法などを理解させる。	第5章 蒸気動力プラント 1節 蒸気動力プラントのあらまし 2節 水蒸気 3節 ボイラ	【知識・技能】●蒸気動力プラントの概要を把握し、蒸気動力プラントの活用方法を理解している。 【思考・判断・表現】●把握した蒸気動力プラントの概要から、蒸気動力プラントの活用方法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】●蒸気動力プラントの概要を把握し、蒸気動力プラントの構成を知り、学習をおとして適切に活用しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	●原子炉の原理・構造・運転法・利用および環境対策などを把握させる。 ●蒸気タービンの原理・構造・性能などを把握させ、各種の蒸気タービンにおける蒸気的作用などを理解させる。 ●基本的な蒸気動力プラントのサイクルを把握させ、また、いろいろなサイクルについて理解させ、熱効率の向上法を把握させる。 ●冷凍とその利用を概観させて、いろいろな冷凍機とその冷凍サイクル、冷凍機の性能、冷凍機の運転などについて、興味や関心を持たせる。 ●蒸気圧縮冷凍機の原理・構成・各機器の働きと、冷媒の状態変化、冷凍サイクル、冷凍機の性能と運転などについて理解させる。 ●吸収冷凍機の原理と構成および特徴を把握させる。	第5章 蒸気動力プラント 4節 原子炉 5節 蒸気タービン 6節 蒸気動力プラントの性能	【知識・技能】●原子炉や蒸気タービンの概要・種類・蒸気的作用と仕事・性能などをもとに、蒸気タービンの適切な活用方法を理解している。 【思考・判断・表現】●把握した蒸気タービンの概要・種類・蒸気的作用と仕事・性能などから、蒸気タービンの適切な活用方法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】●蒸気タービンの概要・種類・蒸気的作用と仕事・性能などや蒸気動力プラントのサイクルと熱効率の関係を理解して、蒸気動力プラントの性能を向上させる方法を学習を通して把握しようとしている。	○	○	○	4
		第6章 冷凍装置 1節 冷凍のあらまし 2節 蒸気圧縮冷凍機 3節 吸収冷凍機	【知識・技能】冷凍や蒸気圧縮冷凍機の原理・構成・冷凍サイクル・性能と運転を把握して、冷媒の環境に対する影響と対策も含めた、蒸気圧縮冷凍機の適切な活用方法を理解している。 【思考・判断・表現】冷凍の原理・冷凍機の種類を把握し、蒸気圧縮冷凍機の原理・構成・冷凍サイクル・性能と運転を把握して、冷媒の環境に対する影響と対策も含めた、蒸気圧縮冷凍機の適切な活用方法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】蒸気圧縮冷凍機の原理・構成・冷凍サイクルおよび吸収冷凍機の原理・構成・冷媒蒸気の変化を理解して、吸収冷凍機の特徴を把握し、吸収冷凍機の適切な活用方法を学習しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計
							70